

お茶の水女子大学学報

平成 10 年 11 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

◇ 学 内 規 則	2	◇ 諸 報	66
◎お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則	2	◎平成10年秋の叙勲	66
◎お茶の水女子大学外国人受託研修員規程	3	◎小学校教育功労者表彰	66
◎お茶の水女子大学国連大学派遣研究員規程	5	◎研 修	67
◎お茶の水女子大学学生部長候補者選考規程の一部を改正する規程	7	◎海外渡航	69
◎お茶の水女子大学附属学校部長選考規程の一部を改正する規程	8	◎附属小学校創立120周年記念事業	71
◎お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則	9	◎健康診断	73
◎お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正する学則	10	◎総合防災訓練	73
◎お茶の水女子大学公印規程	11	◎レクリエーション行事	74
◇ 学 事	18	◎訃 報	75
◎平成11年度お茶の水女子大学学生募集要項	18	◇ 日 誌	76
◎平成11年度お茶の水女子大学私費外国人留学生（学部留学生）特別選抜学生募集要項	34		
◎平成10年9月卒業式及び学位記授与式	40		
◇ 各種委員会委員	42		
◇ 新任部局長紹介	56		
◇ 人 事	59		

学 内 規 則

○平成10年お茶の水女子大学規則第17号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成10年9月24日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学学則（昭和24年5月31日制定）の一部を次のように改正する。

「第6節 科目等履修生、聴講生、特別聴講生、委託生、研究生、私学研修生、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員、公立大学研修員及び受託研究員」を「第6節 科目等履修生、聴講生、特別聴講生、委託生、研究生、私学研修生、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員、公立大学研修員、受託研究員、外国人受託研修員及び国連大学派遣研究員」に改める。

第44条の3の次に次の2条を加える。

第44条の4 国際協力事業団が開発途上国から招致する研修員について研修受入れの申込みがあるときは、外国人受託研修員として受入れを許可することができる。

第44条の5 国際連合大学から派遣される海外の若手研究者について、研修受入れの申込みがあるときは、国連大学派遣研究員として受入れを許可することができる。

第46条中「及び受託研究員」を「、受託研究員、外国人受託研修員及び国連大学派遣研究員」に改める。

附 則

この学則は、平成10年9月24日から施行し、平成10年4月1日から適用する。

○平成10年お茶の水女子大学規則第18号

お茶の水女子大学外国人受託研修員規程を次のように定める。

平成10年9月24日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学外国人受託研修員規程

(趣旨)

第1条 この規程は、お茶の水女子大学学則第46条の規定及び外国人受託研修員制度実施要項(昭和49年3月18日文部大臣裁定)に基づき、お茶の水女子大学(以下「本学」という。)における外国人受託研修員(以下「受託研修員」という。)の受入れに関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において「受託研修員」とは、国際協力事業団法(昭和49年法律第62号)による国際協力事業団(以下「国際協力事業団」という。)が、開発途上国から招致する研修員で、本学の学部、大学院人間文化研究科、ジェンダー研究センター及び生活環境研究センター(以下「部局」という。)において研修を行う者をいう。

(資格)

第3条 受託研修員として受入れることのできる者は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第52条で定める大学を卒業した者又は、これと同等以上の学力があると認めたとする。

(申請及び受入れの許可)

第4条 受託研修員の受入れは、国際協力事業団総裁からの申請に基づき、当該部局教授会等の議を経て、学長がこれを許可する。

2 当該部局の長は、受託研修員の研究題目に応じて、指導教官を定めるものとする。

(受入れ内容の変更)

第5条 受託研修員の受入れ内容に変更を生じた場合は、当該部局教授会等の議を経て、学長がこれを許可する。

(報告)

第6条 学長は、受託研修員の受入れ及び受入れ内容の変更を許可したときは、速やかに文部省学術国際局長に報告するものとする。

(研修期間)

第7条 受託研修員の研修期間は、1年以内とし、受入れを許可する日の属する会計年度を超えることはできない。ただし、特別の理由があると認められた場合は、この限りではない。

(研修期間区分)

第8条 受託研修員の研修期間区分は、会計年度内における研修する期間の日数により、次のとおりとする。

研修期間区分	研修期間の日数
--------	---------

1 か 月	30日以内
3 か 月	31日以上 90日以内
6 か 月	91日以上180日以内
9 か 月	181日以上270日以内
12 か 月	270日以上365日以内

(研修方法)

第9条 受託研修員は、指導教官の承認を得て、講義及び実験実習に参加し並びに本学の施設、設備を利用することができる。

- 2 受託研修員の研究題目により、学外における研修（以下「学外研修」という。）が必要な場合は、指導教官の申し出により当該部局の長が許可するものとする。
- 3 前項の学外研修を行う場合は、指導教官又は当該部局の長が適当と認めた者に引率させるものとする。

(研修料及び徴収方法)

第10条 受託研修員に係る研修料は、国際協力事業団が負担するものとし、その研修料及び徴収方法は「外国人受託研修員の受入れ等について（昭和60年4月1日付け文学企第132号）」によるものとする。

- 2 既納の研修料は、還付しない。

(許可の取消)

第11条 受託研修員として不適当と認められたときは、当該部局教授会等の議を経て、学長は受入れの許可を取り消すものとする。

- 2 第7条ただし書により、当該会計年度を超えて研修期間を許可された者の翌年度以降に係る研修については、受託研修員経費の予算措置が講ぜられなかった場合は、受入れの許可を取り消すものとする。

附 則

この規程は、平成10年9月24日から施行し、平成10年4月1日から適用する。

○平成 年お茶の水女子大学規則第19号

お茶の水女子大学国連大学派遣研究員規程を次のように定める。

平成10年9月24日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学国連大学派遣研究員規程

(趣旨)

第1条 この規程は、お茶の水女子大学学則第46条の規定及び国連大学派遣研究員受入れ実施要項（平成8年3月6日文部大臣裁定。以下「実施要項」という。）に基づき、お茶の水女子大学（以下「本学」という。）における国連大学派遣研究員（以下「研究員」という。）の受入れに関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において「部局」とは、各学部、大学院人間文化研究科、ジェンダー研究センター及び生活環境研究センターをいう。

(受入れ原則)

第3条 学長は、文部省学術国際局長から依頼があつた場合、研究、教育その他本学の運営上支障がないと認めるときは、当該研究員を受入れるものとする。

(受入れの許可)

第4条 研究員の受入れは、当該研究員の受入れ部局教授会等の議を経て、学長がこれを許可する。

2 学長は、前項により研究員の受入れを許可したときは、速やかに文部省学術国際局長に報告するものとする。

(研究指導)

第5条 受入れ部局の長は、受入れに当たつて、研究員の研究目的及び内容に基づき、その研究を指導、助言する本学の教官（以下「研究指導教官」という。）を定めるものとする。

2 研究員は、研究指導教官の指導、助言の下に、研究に従事するものとする。

(研究期間)

第6条 研究員の研究期間は、原則として2年以内とする。

(研究に要する経費)

第7条 研究員の研究に要する経費は、徴収しないものとする。

(研究報告書等)

第8条 研究員は、研究期間が満了するときは、研究報告書を研究指導教官及び部局の長を経て、学長に提出しなければならない。

2 研究指導教官は、研究員の研究期間が満了するときは、研究記録簿を作成し、部局の長を経て、学長に提出するものとする。

(研究証明書)

第9条 学長は、研究員から本学における研究に関し、証明の願い出があつたときは、研究証明書を交付することができる。

(施設等の利用)

第10条 研究員は、当該部局の長または当該施設の管理責任者の承認を得て、本学の施設、設備を利用することができる。

(研究期間等の変更)

第11条 研究員は、研究期間その他の事項を変更しようとするときは、研究指導教官及び部局の長を経て、学長に申請しなければならない。

2 学長は、前項の申請があつたときは、文部省学術国際局長と協議の上、その変更を認めることがある。

(規程等の遵守)

第12条 研究員は、この規程のほか、本学の規程等を遵守しなければならない。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、研究員の取扱いに関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成10年9月24日から施行し、平成10年4月1日から適用する。

○平成10年お茶の水女子大学規則第20号

お茶の水女子大学学生部長候補者選考規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成10年9月24日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学学生部長候補者選考規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学生部長候補者選考規程（昭和54年10月24日制定）の一部を次のように改正する。

第5条第2項を削り、同条第3項中「前2項」を「前項」に改め、同項を同条第2項とする。

附 則

この規程は、平成10年9月24日から施行する。

○平成10年お茶の水女子大学規則第21号

お茶の水女子大学附属学校部長選考規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成10年9月24日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学附属学校部長選考規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学附属学校部長選考規程（昭和55年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第5条第1項中第6号を第7号とし、第3号から第5号までを1号ずつ繰り下げ、第2号の次に次の1号を加える。

三 大学院人間文化研究科長

同条第2項中「第3号及び第4号」を「第4号及び第5号」に改正する。

附 則

この規程は、平成10年9月24日から施行する。

○平成10年お茶の水女子大学規則第22号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成10年10月28日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学学則（昭和24年5月31日制定）の一部を次のように改正する。

第42条の2第3項中「により文部省の承認を得た」を「に定める不徴収の基準を満たした」に改める。

附 則

この学則は、平成10年10月28日から施行する。

○平成10年お茶の水女子大学規則第23号

お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成10年10月28日

お茶の水女子大学長 佐藤 保

お茶の水女子大学大学院学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学大学院学則（昭和38年4月24日制定）の一部を次のように改正する。

第39条第2項中「により文部省の承認を得た」を「及び大学間特別研究学生交流協定に基づく授業料の相互不徴収実施要項（平成10年3月10日文部省高等教育局長裁定）に定める不徴収の基準を満たした」に改める。

附 則

この学則は、平成10年10月28日から施行する。

○平成10年お茶の水女子大学規則第24号

お茶の水女子大学公印規程を次のように定める。

平成10年10月30日

お茶の水女子大学事務局長 橋本幹夫

お茶の水女子大学公印規程

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学(以下「本学」という。)において使用する公印(会計機関の使用するものを除く。以下同じ。)に関しては、文部省公印規則(昭和41年文部省訓令第4号)及びその他法令等別に定めがあるもののほか、この規程に定めるところによる。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 一 公印 公務上作成された文書に使用する印章で、その印影を押すことにより当該文書が真正なものであることを認証することを目的とするものをいい、次号の庁印及び第3号の官職印を総称する。
- 二 庁印 本学又は部局の名称を刻印した公印をいう。
- 三 官職印 学長又は部局の長若しくはその他の職員で、その職務権限が定められた者の官職名を刻印した公印をいう。
- 四 部局 事務局、学生部、文教育学部、理学部、生活科学部、大学院人間文化研究科、附属図書館、ジェンダー研究センター、生活環境研究センター、保健管理センター、附属学校部、附属高等学校、附属中学校、附属小学校及び附属幼稚園をいう。

(公印の作成等)

第3条 公印の裁定権者は、学長とする。

- 2 部局の長は、当該部局に係る公印を作成、改刻又は廃止しようとするときは、別記様式第1号により学長の承認を得なければならない。
- 3 前項の承認を得て、公印を作成、改刻又は廃止したときは、部局の長は、別記様式第2号に公印簿(別記様式第3号)を添えて、学長に報告しなければならない。

(公印の形式及び印材)

第4条 公印は、方形の印面の周囲に一条の外側縁を付し、その内側に、刻印しなければならない文字を明確な字体で浮き彫りにするものとする。この場合において、「印」及び「之印」の文字を加えて彫刻することができる。

- 2 公印の印材には、容易に磨滅又は腐食しない硬質のものを使用するものとする。

(公印の種類)

第5条 公印の種類及び寸法は、別表第1及び別表第2に定めるとおりとする。

(特別用途に使用する公印の特例)

第6条 特別の用途に使用する公印であつて前2条に定める形式、寸法及び印材に

よりがたいものについては、前2条の規定にかかわらず、適宜その形式、寸法及び印材を定めることができる。

(公印の管守)

第7条 公印は、別表第1及び別表第2に掲げる種類に応じ、それぞれ当該各欄に掲げる公印管守責任者及び公印管守担当者が、管守しなければならない。

2 公印管守責任者は、公印に関する事務を総括し、及び公印の管理に関し公印管守担当者を監督する。

3 公印管守担当者は、公印管守責任者の命を受け、公印が適切に使用されるよう管理し、及び公印が使用されないときは、確実な保管場所に格納し、厳重に保管しなければならない。

(公印の使用)

第8条 公印の使用を必要とする場合は、当該必要とする文書（以下「発送文書等」という。）に決裁済みの原議書を添えて、公印管守担当者に公印の使用を請求するものとする。

2 公印管守担当者は、前項の規定により公印の使用の請求を受けたときは、発送文書等と決裁済みの原議書とを照合した上で、自ら押印し、又は当該公印の使用を請求した者に押印させるものとする。この場合において、公印の使用を請求した者に押印させるときは、公印管守担当者は、その押印に立ち会わなければならない。

3 原議書によりがたい場合で、公印の使用を必要とするときは、公印管守責任者又は部局長の長の許可がある場合に限り、公印使用簿（別記様式第4号）に所要事項を記入の上、押印することができる。

4 学長、部局長若しくはその他の職員で職務権限が定められた者に事故等があるため、他の者が事務代理又は事務取扱等を命ぜられ、その職務を代行する場合においては、その職務を代行される者の官職印を使用するものとする。

(公印の印影の印刷)

第9条 一定の字句からなる公文書で多数印刷するものにあつては、学長又は部局長の長が支障がないと認めたときは、その公印の印影を当該文書と同時に印刷して、公印の押印に代えることができる。

2 電子計算機により作成する公文書にあつては、学長又は部局長の長が支障がないと認めたときは、電子計算機により作成した印影を当該文書と同時に印刷して、公印の押印に代えることができる。

(公印の事故)

第10条 部局長の長は、公印の盗難、紛失その他の事故が生じたときは、別記様式第5号により、速やかにその旨を学長に届け出るとともに、適切な処置をとらなければならない。

附 則

1 この規程は、平成10年10月30日から施行する。

2 この規程の施行の際、現に使用されている公印で、「別表第1」及び「別表第2」の寸法と異なるものについては、これを改刻するまでの間使用することができる。

別表第1（第5条・第6条関係）

庁印の種類、寸法及び公印管守者

庁印の種類	寸法 ($\frac{3}{4}$ メートル 平方)	用途	公印管守 責任者	公印管守 担当者	備考
お茶の水女子大学	30	一般	庶務課長	庶務係長	
お茶の水女子大学	60	特別	庶務課長	庶務係長	卒業証書用
お茶の水女子大学文教育学部	54	特別	庶務課長	庶務係長	卒業証書用
お茶の水女子大学理学部	54	特別	庶務課長	庶務係長	卒業証書用
お茶の水女子大学生活科学部	54	特別	庶務課長	庶務係長	卒業証書用
お茶の水女子大学学生課	25	一般	学生課長	学生係長	
お茶の水女子大学大学院人文科学 学研究科	28	一般	文教育学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学附属図書館	28	一般	附属図書館 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学ジェンダー研 究センター	25	一般	研究協力室 長	研究協力室 長	
お茶の水女子大学生活環境研究 センター	25	一般	研究協力室 長	研究協力室 長	
お茶の水女子大学保健管理セン ター	25	一般	学生課長	学生係長	
お茶の水女子大学附属学校部	28	一般	附属学校部 事務室長	附属学校部 事務室長	
お茶の水女子大学附属高等学校	25	一般	附属高等学 校教頭	附属高等学 校教頭	
お茶の水女子大学附属中学校	25	一般	附属中学校 教頭	附属中学校 教頭	

お茶の水女子大学附属小学校	25	一般	附属小学校 教 頭	附属小学校 教 頭	
お茶の水女子大学附属小学校	60	特別	附属小学校 教 頭	附属小学校 教 頭	卒業証書用
お茶の水女子大学附属幼稚園	25	一般	附属幼稚園 教 頭	附属幼稚園 教 頭	

別表第2（第5条・第6条関係）

官職印の種類、寸法及び公印管守者

官職印の種類	寸法 ($\frac{\text{mm}}{\text{平方}}$)	用途	公印管守 責任者	公印管守 担当者	備考
お茶の水女子大学長	30	一般	庶務課長	庶務係長	
お茶の水女子大学長	21	特別	学生課長	学生係長	証明用
お茶の水女子大学文教育学部長	30	特別	庶務課長	庶務係長	卒業証書用
お茶の水女子大学理学部長	30	特別	庶務課長	庶務係長	卒業証書用
お茶の水女子大学生活科学部長	30	特別	庶務課長	庶務係長	卒業証書用
お茶の水女子大学事務局長	30	一般	庶務課長	庶務係長	
お茶の水女子大学庶務課長	20	一般	庶務課長	庶務係長	
お茶の水女子大学会計課長	20	一般	会計課長	総務係長	
お茶の水女子大学施設課長	20	一般	施設課長	企画係長	
お茶の水女子大学学生部長	30	一般	学務課長	教務係長	
お茶の水女子大学学務課長	20	一般	学務課長	教務係長	
お茶の水女子大学学生課長	20	一般	学生課長	学生係長	
お茶の水女子大学入学主幹	20	一般	入学主幹	入学試験係長	
お茶の水女子大学文教育学部長	30	一般	文教育学部 事務長	総務係長	

お茶の水女子大学大学院人文科学 学研究科長	30	一般	文教育学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学文教育学部事 務長	20	一般	文教育学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学理学部長	30	一般	理学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学大学院理学研 究科長	30	一般	理学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学理学部事務長	20	一般	理学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学生活科学部長	30	一般	生活科学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学大学院家政学 研究科長	30	一般	生活科学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学生活科学部事 務長	20	一般	生活科学部 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学大学院人間文 化研究科長	30	一般	大学院事務 室長	大学院係長	
お茶の水女子大学附属図書館長	30	一般	附属図書館 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学附属図書館事 務長	20	一般	附属図書館 事務長	総務係長	
お茶の水女子大学ジェンダー研 究センター長	23	一般	研究協力室 長	研究協力室 長	
お茶の水女子大学生活環境研究 センター長	23	一般	研究協力室 長	研究協力室 長	
お茶の水女子大学保健管理セン ター所長	23	一般	学生課長	学生係長	
お茶の水女子大学附属学校部長	30	一般	附属学校部 事務室長	附属学校部 事務室長	

お茶の水女子大学附属高等学校 長	2 3	一般	附属高等学 校 教 頭	附属高等学 校 教 頭	
お茶の水女子大学附属中学校長	2 3	一般	附属中学校 教 頭	附属中学校 教 頭	
お茶の水女子大学附属小学校長	2 3	一般	附属小学校 教 頭	附属小学校 教 頭	
お茶の水女子大学附属小学校長	2 7	特別	附属小学校 教 頭	附属小学校 教 頭	卒業証書用
お茶の水女子大学附属幼稚園長	2 3	一般	附属幼稚園 教 頭	附属幼稚園 教 頭	

別 記 様 式 略

学 事

○平成11年度お茶の水女子大学学生募集要項

(一般選抜)

1 学部・学科別募集人員

学部名	学科等名	入学定員	募集人員		備 考
			前期日程	後期日程	
文 教 育 学 部	人 文 学 科	57	34	13	推薦入学10名
	言 語 文 化 学 科	84	59	25	
	人 間 社 会 学 科	42	33	9	
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	29			
	「舞踊教育学コース」		17	—	(前期日程のみ募集)
	「音楽表現コース」		5	4	推薦入学 3名
	小 計	212	148	51	推薦入学13名
理 学 部	数 学 学 科	20	11	4	推薦入学 5名 帰国子女特別選抜 若干名
	物 理 学 科	20	14	3	推薦入学 3名 帰国子女特別選抜 若干名
	化 学 学 科	20	14	3	推薦入学 3名 帰国子女特別選抜 若干名
	生 物 学 科	25	17	4	推薦入学 4名 帰国子女特別選抜 若干名
	情 報 学 科	40	23	7	推薦入学10名 帰国子女特別選抜 若干名
		小 計	125	79	21
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	63	45	9	推薦入学 9名
	人 間 生 活 学 科	68	46	10	推薦入学12名
	小 計	131	91	19	推薦入学21名
	合 計	468	318	91	推薦入学59名 帰国子女特別選抜 若干名

[注1] 文教育学部芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」では、前期日程のみの募集で、後期日程の募集は行わない。

[注2] 理学部の帰国子女特別選抜の若干名は、前期日程に含む。

2 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、平成11年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成11年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成11年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成11年3月31日までにこれに該当する見込みの者

〔平成11年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内の2～5ページ〕
〔「2 出願資格と出願資格を証明する書類」の項参照のこと。〕

3 出願手続

(1) 出願期間

前期日程、後期日程とも平成11年1月25日（月）から2月3日（水）までの間に必着するよう郵送すること。

ただし、2月2日（火）以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

志願者は、出願書類を一括して、**本学所定の封筒**を用い**書留速達**で下記あてに郵送すること。

文教育学部志願者 …………… 文教育学部事務部
理学部志願者 …………… 理学部事務部
生活科学部志願者 …………… 生活科学部事務部

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学○○○学部事務部

(3) 出願について

① 他の国公立大学との併願について

【前期日程】と【後期日程】において、2つの国公立大学に出願する場合は、「前期－前期」、「後期－後期」の組み合わせで併願することはできない。

② 本学の併願について

本学の【前期日程】に出願する者が本学の【後期日程】を併願してもよい。なお、【前期日程】と【後期日程】で志望する学部・学科が異なっても差し支えないが、【前期日程】、【後期日程】のいずれも1つの学部・学科に限る。

③ 本学又は他の国公立大学（「私立産業医科大学」を含む。以下同じ）の「前期日程試験」に合格し、平成11年3月15日（月）までに入学手続きを行った者は、「後期日程試験」を受験してもその合格者とはならない。

④ 本学又は他の国公立大学の推薦入学の合格者は、本学の個別学力検査等（第2次試験）を受験してもその合格者とはならない。

ただし、当該大学の推薦入学の辞退を許可されたものは除く。

⑤ 本学の推薦入学及び帰国子女特別選抜の志願者で、合格とならなかった者が同じ学部に出願する場合は、出願書類等のうち、調査書及び健康診断書は提出しなくてもよい。

⑥ 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(4) 出願書類等

1	出願カード (志願者名票) (写真票) (受験票)	<p>本学所定のもの。</p> <p>「出願カード記入上の注意」(17ページ)を参照し、記入すること。</p> <p>文教育学部、理学部及び生活科学部の各学部それぞれ前期日程用・後期日程用の6種類があるので、該当するカードに記入すること。</p> <p>各学部の前期日程用には「平成11年度大学入試センター試験成績請求票」の(前用)を、各学部の後期日程用には(後用)をそれぞれ所定欄に貼付すること。</p>
2	入学志願者マークカード	「入学志願者マークカード記入上の注意」(19ページ)を参照し、本学所定のマークカードに記入すること。
3	調査書	出身学校長が作成し、厳封したもの。ただし、出願資格(3)に該当する者は当該試験等の成績証明書を提出すること。
4	実技関係調査用紙	文教育学部芸術・表現行動学科を志願する者のみ本学所定の用紙で提出すること。
5	健康診断書	平成9年3月以前の高等学校卒業生及び出願資格(3)に該当する者は「視力、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書(様式は特に定めない。)(出願前3か月以内のもの)を提出すること。平成10年3月高等学校卒業生及び平成11年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。
6	検定料	<p>郵便局振出しの17,000円の「普通為替証書」として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。</p> <p>(注)(1) 第1段階選抜の不合格者に対しては、13,000円を返還する。</p> <p>(2) 上記の(1)に該当する者は、平成11年3月31日までに申し出ること。</p> <p>(3) 上記(1)の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。</p>
7	検定料納付書 (原符・領収証書)	<p>本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入し、裏面に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し50円切手を貼付すること。</p> <p>領収証書には受験番号が記載されているので、大切に保管すること。</p>
8	受験許可書	大学に在学している者は、学長・学部長・学生部長のいずれかが本学の受験を許可した証明書を提出すること。(様式は特に定めない。)
9	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に350円切手(速達料を含む。)を貼付し、志願者の住所氏名及び郵便番号を記入すること。
10	あて名票	合格通知に使用するので、本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないでよい。
11	合格者受験番号表申込用紙 (電子郵便)	希望する者は、本学所定の用紙を用い580円分の切手を貼ること。

備 考

- ① 出願カードは文教育学部、理学部及び生活科学部の各学部それぞれ前期日程用・後期日程用の6種類があり、その他の出願書類は〔前期日程用〕と〔後期日程用〕の2種類があるので、志望する学部の提出書類を確認のうえ提出すること。
- ② 前期日程と後期日程の両方に出願する場合（併願）は、2種類の出願書類等をそれぞれ所定の封筒で提出すること。
- ③ 志願用封筒下欄の志願者欄に志望学科等を明記すること。
また、前期日程の文教育学部及び生活科学部志願者のうち次に該当する者は、受験を希望する学力検査受験区分の国語又は数学のいずれかに○をつけること。
文教育学部 人文科学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科「音楽表現コース」
生活科学部 人間生活学科

(5) 身体に障害のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、身体に障害があり、受験上特別な措置を希望する者については、事前相談を行うので、出願する前のできるだけ早い時期に本学入学主幹室に申し出て（電話可）、「受験特別措置事前相談申請書」を受領のうえ、原則として、平成11年1月22日（金）までに必要書類（医師の診断書等）を添えて提出すること。

なお、点字又は代筆による解答を希望する者については、平成10年12月18日（金）までに申し出ること。

また、日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場の設定等との関係から特別措置として取り扱うこととしているので、前記と同様に出願に先立ち本学入学主幹室に申し出ること。

お茶の水女子大学入学主幹室入学試験係 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
電 話 (03) 5978-5151～2

障害の種別	障 害 の 程 度
視覚障害者	1. 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2. 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなるとみとめられるもの
聴覚障害者	1. 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの 2. 両耳の聴力レベルが100デシベル未満60デシベル以上のものうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2. 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3. 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4. 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5. 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないものうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状況が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

4 大学入試センター試験で受験を要する教科等

本学に入学を希望する者は、推薦入学及び帰国子女特別選抜への出願を除き、下表に示す平成11年度大学入試センター試験を受験していなければ、出願し、受験しても入学許可は得られないので十分注意すること。

特に、*印科目の受験資格に留意すること。

文教育学部

学科名等	選抜方法の区分	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	受験を要する教科数
人文科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 理(物B、化B、生B、地学B) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	4教科
言語文化学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 理(物B、化B、生B、地学B) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	
人間社会科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 理(物B、化B、生B、地学B) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	4教科
芸術・表現行動学科 「舞踊教育学コース」 「音楽表現コース」	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理A、地理B) } から1 公民 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外	5教科
	後期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 外	3教科

[注] 「舞踊教育学コース」は、前期日程のみの募集である。

理学部・生活科学部

学科名等	選抜方法の区分	大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目名	受験を要する教科数
理学部 数学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
物理学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
化学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、生Bから1)と(化B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
生物学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
情報科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	4教科
	後期日程		
生活科学部 生活環境学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴 公民 } から1 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、生Bから1)と(化B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	5教科
	後期日程		
人間生活学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴 公民 } から1 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿*、情報*から1) 理(物B、化B、生B、地学Bから1) 外(英、独、仏から1)	5教科
	後期日程		

* 大学入試センター試験の「工業数理」、「簿記」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
 [注] 大学入試センター試験で、指定した教科・科目の範囲内で2科目以上受験している場合は、3学部とも高得点の科目の成績を用いる。

5 本学の入学試験

(1) 個別学力検査期日

【前期日程】

文教育学部 平成11年2月25日(木) (「舞踊教育学コース」実技検査)
 // 26日(金) (「舞踊教育学コース」及び「音楽表現コース」実技検査)
 理学部 平成11年2月25日(木)
 生活科学部 平成11年2月25日(木)

【後期日程】

文教育学部 平成11年3月12日(金) (「音楽表現コース」実技検査)
 理学部 平成11年3月12日(金)
 生活科学部 平成11年3月12日(金)

(2) 個別学力検査等の教科・科目等

文教育学部

学科名等	選抜方法の区分	個別学力検査等の教科・科目等	備考
人文科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	数A*(数と式、数列) 数B*(ベクトル、複素数と複素数平面)
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
言語文化学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	
	後期日程	小論文	
人間社会科学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1)	
	後期日程	小論文、面接	
芸術・表現行動学科	前期日程	「舞踊教育学コース」実技検査 「音楽表現コース」 国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } から1 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏、中から1) 実技検査	「舞踊教育学コース」では、後期日程の募集は行わない。
	後期日程	「音楽表現コース」 実技検査	

理学部・生活科学部

学科名等	選抜方法の区分	個別学力検査等の の教科・科目等	備考
理学部 数学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 理(物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱ、生B・生Ⅱから1)	数A*(数と式、数列) 数B*(ベクトル、複素数と複素数平面) 数C*(行列と線形計算、 いろいろな曲線)
	後期日程	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*)	
物理学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数、理(物B・物Ⅱ)と(数Ⅲ・数C*、化B・化Ⅱ、 生B・生Ⅱから1)	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
化学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理(化B・化Ⅱ)と(物B・物Ⅱ、生B・生Ⅱから1)	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
生物学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理(生B・生Ⅱ)と(物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱから1)	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
情報科学科	前期日程	数学共通(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 数、理(数Ⅲ・数C*、物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱ、 生B・生Ⅱから2)	
	後期日程	個別学力検査は課さない。	
生活科学部 生活環境学科	前期日程	数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏から1)	数A*(数と式、数列) 数B*(ベクトル、複素数と複素数平面)
	後期日程	面接	
人間生活学科	前期日程	国(国Ⅰ・国Ⅱ・古Ⅰ・古Ⅱ) } から1 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) } 外(英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング、独、仏から1)	
	後期日程	面接	

(3) 試験教科・科目別配点

文教育学部

【前期日程】

試験区分 教科・科目等 学科名		大学入試センター試験					本学の試験					合計		
		国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国 語	計	国語	数学	外国 語	実 技		計	
人文学科		100	50	100	50	100	400	(200)	(200)	200	—	400	800	
言語文化学科		100	50	100	50	100	400	200	—	200	—	400	800	
人間社会学科		100	50	100	50	100	400	(200)	(200)	200	—	400	800	
芸術・表現行動学科		舞踊	100	50	100	50	100	400	—	—	—	200	200	600
		音楽	100	50	100	50	100	400	(200)	(200)	200	※	400	800

※ 音楽表現コースの実技については、総合判定の資料とする。

〔注〕人文学科、人間社会学科、芸術・表現行動学科は、()から1科目選択

理学部

試験区分 教科・科目等 学科名		大学入試センター試験					本学の試験						合計		
		国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国 語	計	数 学			理 科			計	
								*数学 共通	*数学 専門	*数学	物理	化学			生物
数 学 科		50	—	50	50	100	250	100	200	—	(100)	(100)	(100)	400	650
物 理 学 科		50	—	50	50	100	250	100	—	(100)	200	(100)	(100)	400	650
化 学 科		50	—	50	50	100	250	100	—	—	(100)	200	(100)	400	650
生 物 学 科		50	—	50	50	100	250	100	—	—	(100)	(100)	200	400	650
情 報 科 学 科		50	—	50	50	100	250	100	100	(100)	(100)	(100)	(100)	400	650

〔注〕数学科、物理学科、化学科、生物学科は、()から1科目選択、情報科学科は、()から2科目選択

*数学共通〔数Ⅰ・数A（数と式、数列）、数Ⅱ・数B（ベクトル、複素数と複素数平面）〕

*数学専門〔数学共通、数Ⅲ・数C（行列と線形計算、いろいろな曲線）〕

*数 学〔数Ⅲ・数C（行列と線形計算、いろいろな曲線）〕

生活科学部

試験区分 教科・科目等 学科名		大学入試センター試験					本学の試験				合計	
		国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国 語	計	国語	数学	外国 語		計
生活環境学科		100	50	100	150	100	500	—	250	250	500	1000
人間生活学科		150	100	100	50	100	500	(250)	(250)	250	500	1000

〔注〕大学入試センター試験の生活環境学科の理科は2科目の合計点とする。

〔注〕人間生活学科は、()から1科目選択

文教育学部

【後期日程】

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験				合計
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	小論文	面接	実技	計	
人文科学科	100	(100)	100	(100)	100	400	—	—	—	—	400
言語文化学科	100	50	100	50	100	400	200	—	—	200	600
人間社会科学科	100	(100)	100	(100)	100	400	100		—	100	500
芸術・表現行動学科	100	—	100	—	200	400	—	—	※	—	400

※ 実技については、総合判定の資料とする。

〔注〕人文科学科、人間社会科学科は、()から1科目選択

〔注〕人間社会科学科の面接については、主として、小論文の解答をもとに行う。小論文及び面接の成績は、これらを総合した合計点とする。

〔注〕芸術・表現行動学科の「舞踊教育学コース」は、前期のみで後期の募集は行わない。

理学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験		合計
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	数学	計	
数学科	※	—	※	※	100	100	300	300	400
物理学科	50	—	200	200	100	550	—	—	550
化学科	100	—	100	200	100	500	—	—	500
生物学科	100	—	100	200	100	500	—	—	500
情報科学科	100	—	200	100	200	600	—	—	600

※ 数学科では、大学入試センター試験の受験を要する教科として国語、数学、理科及び外国語の4教科を課しているが、可否の判定には、外国語のみを用いる。

ただし、第1段階選抜を実施する場合は、大学入試センター試験の国語(50点)、数学(50点)、理科(50点)、外国語(100点)の配点とする。

生活科学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験						本学の試験
	国語	地理 歴史 公民	数学	理科	外国語	計	面接
生活環境学科	—	—	200	200	200	600	※
人間生活学科	200	—	200	—	200	600	※

※ 面接については、総合判定の資料とする。

〔注〕大学入試センター試験の生活環境学科の理科は2科目の合計点とする。

(4) 入学試験日時割

【前期日程】

学部・学科等		日 時		
		2月25日(木)		26日(金)
文 教 育 学 部	人 文 学 科	国語又は数学 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50	/
	言 語 文 化 学 科	国 語 10:00~11:40		
	人 間 社 会 学 科	国語又は数学 10:00~11:40		
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 「舞踊教育学コース」	実 技 10:00~	実 技 10:00~	
	「音楽表現コース」	国語又は数学 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50	
理 学 部	数 学 科	数学共通 10:00~11:40	数学専門・選択(物理、化学、 生物) 13:10~16:10	/
	物 理 学 科		物理・選択(数学、化学、生物) 13:10~16:10	
	化 学 科		化学・選択(物理、生物) 13:10~16:10	
	生 物 学 科		生物・選択(物理、化学) 13:10~16:10	
	情 報 学 科		数学専門・選択(物理、化学、 生物、数学) 13:10~16:10	
生 活 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50	/
	人 間 生 活 学 科	国語又は数学 10:00~11:40		

【後期日程】

日 時		3月12日 (金)
学部・学科等		
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	個別学力検査は課さない。
	言 語 文 化 学 科	小 論 文 10:00~11:30
	人 間 社 会 科 学 科	小 論 文 10:00~11:30 面 接 13:00~
	芸術・表現行動学科 「音楽表現コース」	実 技 10:00~
理 学 部	数 学 科	数 学 10:00~13:00
	物 理 学 科	個別学力検査は課さない。
	化 学 科	個別学力検査は課さない。
	生 物 学 科	個別学力検査は課さない。
	情 報 科 学 科	個別学力検査は課さない。
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	面 接 10:00~
	人 間 生 活 学 科	

(5) 実技検査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動

イ. 面接

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞踊（下記の①と②を行う。）

① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊やマイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作も可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。

② 創作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

① バレーボール

② バスケットボール

③ テニス（硬式又は軟式）

※ 実技検査に必要な服装、靴、用具を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

ア. 聴音：1～4声部

イ. 新曲視唱：旋律のみ

ウ. 歌唱：イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。

なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

エ. ピアノ：J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。

ア. 声楽演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

① 日本歌曲

② アリア（原語・原調）又は外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）

② ショパンのピアノ練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声又は任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

6 入学者の選抜方法

(1) 入学者の選抜

入学者の選抜は、本学が課す大学入試センター試験、個別学力検査、面接、小論文、実技検査、調査書及び健康診断書を総合して合格者を判定する。

(2) 選抜方式

本学の一般選抜の個別学力検査等は、分離・分割方式とし、【前期日程】と【後期日程】に分けて実施する。

ただし、文教育学部芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」では、【前期日程】のみで実施する。

(3) 2段階選抜

入学志願者が募集人員を大幅に上回り、本学の個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、第1段階選抜を行い、その合格者に対して本学の個別学力検査等を行う。

① 第1段階の選抜方法

本学各学部が定める「大学入試センター試験で受験を要する教科等」の各教科・科目の得点（本学が定める配点9～10ページに記載）を主とし募集人員の約6倍（ただし、理学部数学科【後期日程】では、約10倍）を第1段階選抜の合格者とする。

② 2段階選抜を実施しない学部・学科

文教育学部	人文科学科	【後期日程】
理 学 部	物理学科	〃
	化学科	〃
	生物学科	〃
	情報科学科	〃

③ 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果について

第1段階選抜の実施の有無及び実施した場合の選抜の結果は、平成11年2月12日（金）の正午頃、学内本部棟前掲示板に掲示する。

実施しない場合 志願者全員に「受験票」と「受験者心得」を郵送する。

実施した場合 合格者には「受験票」と「受験者心得」を、合格とならなかった者には「選抜結果通知書」及び「検定料返還金請求書」用紙を郵送する。

なお、【前期日程】では、2月17日（水）、【後期日程】では、3月2日（火）を過ぎても到着しないときは、出願学部事務部へ問い合わせること。

(4) 個別学力検査等の受験について

受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参すること。

なお、「大学入試センター試験受験票」は入学手続きの際にも必要となるので、受験後も紛失しないように保管しておくこと。

7 合格発表

【前期日程】

3月10日（水）正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

【後期日程】

3月21日（日）正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

〔注〕電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

合格者には、発表当日、あて名票（出願書類10）の住所に合格通知書を郵送する。

※ 電子郵便による「合格者受験番号表」について

電子郵便の内容は、志願した学部ごとに合格者全員の受験番号が記載されている。従ってこれに自分の受験番号が載っていない場合は不合格である。

出願書類を郵送する際、本学所定の用紙に必要事項記入のうえ580円切手を貼付して提出すること。（電子郵便のあて先は、必ず本人が受け取ることでできるところとし、提出後のあて先の変更はできない。）

合格発表から入学手続締切りまでの期間が短いため、合格発表当日、確認に来ることができない者は、送付を希望することが望ましい。

電子郵便は、合格発表日に到着する予定であるが、万一、未着の場合は小石川郵便局〔TEL (03)3815-7155・7156〕へ直接問い合わせること。

この「合格者受験番号表」の不着及び遅配を理由とした入学手続期間経過後の手続は一切認めない。

（注）上記の電子郵便以外の合否電報等は、本学とは一切関係なく、大学は責任を持ってないので注意すること。

8 入学手続等

(1) 入学手続日

学 部	日程	手 続 日	手 続 時 間	手 続 場 所
文教育学部	前期	3月14日（日）	10：00～12：00、13：00～16：00	文教育学部一号館 第一会議室
	日程	3月15日（月）		
理学部	後期	3月26日（金）		
	日程	3月27日（土）		

〔注〕所定の期日までに手続きをしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

(2) 留意事項

本学に入学手続を完了した後これを取り消して他の国公立大学に入学手続をすることはできない。

(3) 手続事項

提示書類	平成11年度本学の受験票及び平成11年度大学入試センター試験受験票
入 学 料	275,000円

授 業 料	<p>前期分 239,400円〔年額 478,800円〕</p> <p>〔注1〕前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。</p> <p>〔注2〕入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。</p> <p>〔注3〕授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。</p> <p>〔注4〕平成11年度入学者から、在学中に授業料改定が行われた場合に、改定時から新授業料が適用されるので留意すること。</p>
-------	---

9 追加合格の通知

- (1) 入学手続締切期日後、募集人員に欠員が生じた場合には、3月28日以降に合格者の追加を行う。
- (2) 追加合格者への通知は、電話で行うので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。
- (3) 入学手続等については、この要項「8 入学手続等」に準ずるが、手続期日等については追加合格の通知（電話）を行う際に連絡する。
 なお、合格者の追加を行うか否かについての問い合わせは、テレホンサービスを利用すること。

10 問い合わせ先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 入学主幹室入学試験係	TEL (03) 5978-5151~2
〃 文教育学部事務部	TEL (03) 5978-5162
〃 理学部事務部	TEL (03) 5978-5287
〃 生活科学部事務部	TEL (03) 5978-5722

問い合わせの場合は返信用封筒（切手貼付）を同封し、返信先を明記すること。

11 テレホンサービスについて

- 出願状況（各学部 of 学科別志願倍率等）
平成11年1月26日（火）～2月10日（水）
- 第1段階選抜の実施の有無
平成11年2月12日（金）正午頃
- 追加合格の実施の有無
平成11年3月27日（土）19時以降

電話番号	(03) 3946-5109
------	----------------

○平成11年度お茶の水女子大学私費外国人留学生
(学部留学生) 特別選抜学生募集要項

1 募集学部・学科・人員

学 部	学 科
文 教 育 学 部	人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科
生 活 科 学 部	生活環境学科、人間生活学科

募集人員は、各学科とも若干名

2 出願資格

次の(1)及び(2)の両方に該当する日本国籍を有しない女子で、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、在留資格「留学」又は「留学」に変更できる在留資格を有する者及び取得できる見込みの者。

- (1) 次の①、②、③、④のいずれかに該当する者
- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成11年(1999年)3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定した者
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成11年(1999年)3月31日までに満18歳に達する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成11年(1999年)3月31日までに満18歳に達する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成11年(1999年)3月31日までに満18歳に達する者
- (2) 平成10年度日本語能力試験(1級)及び平成11年度私費外国人留学生統一試験を受験した者
なお、日本において高等学校を卒業又は同等以上の資格を得た者は、一般志願者用の募集要項により手続きをすること。

3 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者(代理人でも差し支えない。)は、出願期間内に下記(3)の出願書類等を持参のうえ提出すること。(郵送による出願は認めない。)

(2) 出 願 先

東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 学務課留学生係
〔地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩5分〕
〔地下鉄有楽町線 護国寺駅下車 徒歩5分〕

(3) 出願書類等

- ア. 出願カード(志願者名票・写真票・受験票)……… 本学所定の用紙を用い、「出願カード記入上の注意」(7ページ)を参照し、記入すること。写真を貼付のこと。
- イ. 最終出身校の成績証明書、卒業証明書及び関係教官の推薦書(日本語訳をつけること。)バカロレア資格・アビトゥア資格により出願をする者はその証書を持参すること。
- ウ. 日本語による自筆の作文(1,000字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について。)
- エ. 平成10年度日本語能力試験(1級)及び平成11年度私費外国人留学生統一試験の受験票の写し
- オ. 健康診断書(本学所定の用紙を用い、出願3か月以内に作成したもの)
- カ. 出願時に日本国内に在住している者………外国人登録済証明書(在留資格・在留期間明記のもの)
出願時に日本国外に在住している者………戸籍謄本又は出生証明書等
- キ. あて名票(合格通知その他に使用するので、本学所定の用紙に志願者名票の「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。郵便切手は貼付しないでよい。)
- ク. 検定料 17,000円
- ケ. 検定料納付書………本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入すること。
- コ. 受験票返送用封筒(本学所定の封筒に350円切手を貼付し、志願者名票の「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。)

4 出願期間

平成10年(1998年)12月14日(月)～12月21日(月) (ただし、土、日曜日を除く。)
 [受付時間] 10時～11時30分、13時～15時

5 私費外国人留学生統一試験で受験を要する科目等

学 部	学 科	受 験 を 要 す る 科 目	受 験 を 要 す る 科 目 数
文教育学部	言語文化学科	文科系	全科目
	人文科学科 人間社会科学科 芸術・表現行動学科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全科目
理学部	全 学 科	理科系	全科目
生活科学部	生活環境学科	理科系	全科目
	人間生活学科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全科目

6 受験票の送付

- (1) 「お茶の水女子大学受験票」は、「受験者心得」とともに、平成11年(1999年)2月12日(金)頃発送する。なお、2月15日(月)を過ぎても到着しないときは、学務課留学生係へ問い合わせること。
- (2) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」を必ず持参すること。

7 入学者の選抜方法

- (1) 志願者全員に本学の入学試験を課し、その結果と日本語能力試験(1級)成績、私費外国人留学生統一試験成績、最終出身校の成績証明書、健康診断書等により、総合して合格者を判定する。

8 本学の入学試験

- (1) 期 日 平成11年(1999年)2月25日(木)、26日(金)
- (2) 試験場 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)
- (3) 学力検査

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
文 教 育 学 部	人文科学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	言語文化学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人間社会科学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	芸術・表現行動 学科	日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、実技検査を行う。

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
理 学 部	数 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	物 理 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数学・理科 (「物理」と「数Ⅲ・数C*、化学、生物から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	化 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科 (「化学」と「物理、生物から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	生 物 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科 (「生物」と「物理、化学から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	情 報 科 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 数学・理科 (数Ⅲ・数C*、物理、化学、生物から2科目選択) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人 間 生 活 学 科	日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)

数A* (数と式、数列)

数B* (ベクトル、複素数と複素数平面)

数C* (行列と線形計算、いろいろな曲線)

(注) 学力検査科目欄の外国語 (英語、ドイツ語、フランス語) は、母国語を選択することはできない。

(4) 実技検査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

- 1, 必須課題
ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動
イ. 面接
- 2, 選択課題（下記のア、イのいずれかを選択すること）
ア. 舞踊（下記の①と②を行う）
① 既存作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊やマイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作も可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。
② 創作：課題は当日提示する。
- イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う）
① バレーボール
② バスケットボール
③ テニス（硬式又は軟式）

※ 実技検査に必要な服装、靴、用具を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

- 1, 必須課題
ア. 聴 音 : 1～2声部
イ. 新曲視唱 : 旋律のみ
ウ. 歌 唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。
なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）
エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。
- 2, 選択課題
次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。
ア. 声楽演奏
下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。
① 日本歌曲
② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）
なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）
イ. ピアノ演奏
下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。
① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10, 作品25）から2曲を自由選択
ウ. 声又は任意の楽器による演奏
音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。
演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

(5) 口述試験

各学部とも口述試験を行う。

(6) 入学試験日時割

		2月25日(木)		2月26日(金)			
文教 教育学部	人文科学科 言語文化学科 人間社会科学科	実技検査 10:00～		日本語 10:00 11:40	外国語 13:10 14:50	口述試験 15:20～	実技検査
	芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース						
	音楽表現コース						
理 学 部	数 学 科	数 学 共 通 10:00～11:40	数学 13:10～15:10	10:00 11:40	13:10 14:50	15:20～	
	物 理 学 科		物理・選択(数Ⅲ・数C、化学、生物) 13:10～16:10				
	化 学 科		化学・選択(物理、生物) 13:10～16:10				
	生 物 学 科		生物・選択(物理、化学) 13:10～16:10				
	情 報 科 学 科		数学・選択(数Ⅲ・数C、 物理、化学、生物) 13:10～16:10				
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学 10:00～11:40					
	人 間 生 活 学 科						

※ 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

9 合格発表

平成11年(1999年)3月10日(水)正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

合格者には、発表当日、「日本国内の連絡先」あてに合格通知書を郵送する。

10 入学手続等

(1) 入学手続日

学 部	手 続 日	手 続 時 間	手 続 場 所
全 学 部	3月14日(日)	10:00~12:00, 13:00~16:00	文教育学部1号館1階第一会議室
	3月15日(月)	〃	〃
	3月26日(金)	〃	〃
	3月27日(土)	〃	〃

(注) 上記「手続日」欄に示したいずれかの日時に、入学手続を行うこと。
所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退した者として取り扱う。

(2) 手続事項

提出書類	お茶の水女子大学受験票
入 学 料	275,000円
授 業 料	前期分 239,400円〔年額 478,800円〕 (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 (注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。 (注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。 (注4) 平成11年度入学者から、在学中に授業料改定が行われた場合に、改定時から新授業料が適用されるので留意すること。

11 注意事項

- (1) 提出書類に不備不足等がある場合は受理しない。また、いったん受理した書類は返却しない。
- (2) 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 可否に関しての電話による問い合わせには応じない。

12 受験に関する問い合わせ先

お茶の水女子大学 学務課留学生係
〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
☎ 03-5978-5143

○平成10年9月卒業式及び学位記授与式

- ・ 卒業者数 (1名)
 - 文教育学部 1名
- ・ 修了者数 (7名)
 - 修士課程 人文科学研究科 3名
 - 家政学研究科 1名
 - 博士課程 人間文化研究科 3名



○学位授与

(課程修了によるもの)

学位授与日:平成10年9月30日

授与番号	博士の専攻分野の名称	氏名	本籍	博士論文名
甲第107号	博士 (人文科学)	大池真知子	東京都	Women, Narrative and History in African Literature: A Comparative Study of Chinua Achebe and Buchi Emecheta.
甲第108号	博士 (学術)	邊仁敬	大韓民国	韓国舞踊の基本動作の動作学的分析 - 発達における応用の観点から -
甲第109号	博士 (理学)	榎木晴子	東京都	磁気共鳴法による溶液内の動的過程と溶媒和

(論文提出によるもの)

学位授与日：平成10年9月30日

授与番号	博士の専攻分野の名称	氏名	本籍	博士論文名
乙第85号	博士 (人文科学)	植木朝子	東京都	今様の研究
乙第86号	博士 (社会科学)	曹賢美	大韓民国	在日韓国・朝鮮人の集住地域の形成と実態 - 神奈川県の池上・桜本、戸手、寿の3地区を事例として -
乙第87号	博士 (人文科学)	森津太子	岐阜県	対人認知における文脈効果 - コンストラクト・アクセシビリティ効果の基礎メカニズムと生起条件 -
乙第88号	博士 (学術)	佐々木玲子	東京都	連続反復動作における時間的動作調整能の発達
乙第89号	博士 (理学)	田中直子	埼玉県	硫酸化糖脂質の構造と機能に関する研究
乙第90号	博士 (理学)	久留戸涼子	静岡県	Studies on the transcriptional regulation in the expression of the genes for myeloid calcium binding proteins MRP8 and MRP14
乙第91号	博士 (理学)	櫛部祥子	東京都	環状オリゴ糖生産酵素

◆各種委員会委員◆

1. ()は事務担当課
2. *印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定
4. 官職は最新ものを掲載
(編集中の移動についても
できる限り補正をした)

評議会(庶務課)

官職等	氏名	任期
学 長	*佐藤 保	9. 2.16~13. 2.15
文教育学部 学 長	上野 浩道	10.10. 1~12. 9.30
理学部長	平野 恒夫	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部 学 長	板倉 壽郎	10.10. 1~12. 9.30
大学院人間 文化研究科 学 長	徳丸 吉彦	9. 4. 1~12. 3.31
附 属 図 書 館 長	小池 三枝	10.11. 1~12.10.31
附 属 学 校 部 長	石川 宏	9. 2.16~11. 3.31
文教育学部 選出評議員	中村 弓子	10.10. 1~11. 9.30
	市古 夏生	
	山本 秀行	
理学部 選出評議員	柴田 文明	9.10. 1~11. 9.30
	松本 勲武	
	真島 秀行	
生活科学部 選出評議員	袖井 孝子	10.10. 1~12. 9.30
	富田 守	

生活科学部 選出評議員	駒城 素子	10.10. 1~12. 9.30
大学院人間 文化研究科 選出評議員	三木 紀人	9. 4. 1~11. 3.31
	富永 靖徳	

(評議会規則第3条に定める者)

官職等	氏名	任期
学生部長	五十嵐 脩	
カリキュラム 委員会 委員長	耳塚 寛明	
ジェンダー 研究 センター長	原 ひろ子	
生活環境 研究 センター長	倉田 忠男	
事務局長	橋本 幹夫	

基本計画委員会(庶務課)

官職等	氏名	任期
学 長	*佐藤 保	
文教育学部 学 長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 学 長	板倉 壽郎	
大学院人間 文化研究科 学 長	徳丸 吉彦	
附 属 図 書 館 長	小池 三枝	
附 属 学 校 部 長	石川 宏	

学生部長	五十嵐 脩	
事務局長	橋本幹夫	

自己点検・評価検討委員会(庶務課)

官職等	氏名	任期
学 長	*佐藤 保	
文教育学長	上野浩道	
理学部長	平野恒夫	
生活科学部長	板倉壽郎	
大学院人間文化研究科長	徳丸吉彦	
文教育学部選出委員	平野由紀子	
理学部選出委員	細矢治夫	
生活科学部選出委員	無藤 隆	
大学院人間文化研究科選出委員	岡崎 眸	
	今野美智子	
ジェンダー研究センター長	原 ひろ子	
生活環境研究センター長	倉田忠男	
附属図書館長	小池三枝	
附属学校部長	石川 宏	
学生部長	五十嵐 脩	

事務局長	橋本幹夫	
------	------	--

国際交流委員会(庶務課)

官職等	氏名	任期
学 長	*佐藤 保	
文教育学長	上野浩道	
理学部長	平野恒夫	
生活科学部長	板倉壽郎	
大学院人間文化研究科長	徳丸吉彦	
文教育学部選出委員	村松賢一	9. 4. 1~11. 3.31
理学部選出委員	福田 豊	
生活科学部選出委員	柴坂寿子	
大学院人間文化研究科選出委員	渡辺ヒサ子	
	西尾道子	
学生部長	五十嵐 脩	
文教育学部助教授	本郷逕子	9. 4. 1~11. 3.31
事務局長	橋本幹夫	

将来構想検討委員会(庶務課)

官職等	氏名	任期
文教育学部選出委員	片岡康子	10.10. 1~12. 9.30
	岩崎千鶴	

理学部 選出委員	松本 勲 武	10.10.1~12.9.30
	永野 肇	
生活科学部 選出委員	會川 義 寛	
	久保田 紀久枝	
大学院人間 文化研究科 選出委員	藤原 正 彦	9.4.1~11.3.31
	柴田 文 明	
ジェンダー 研究センター 選出委員	館 かおる	10.10.1~12.9.30
生活環境 研究センター 選出委員	富永 典子	

発明委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任 期
文教育学部 学長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 学長	板倉 壽郎	
文教育学部 選出委員	内藤 俊史	10.10.1~12.9.30
理学部 選出委員	細矢 治夫	
	福田 豊	
生活科学部 選出委員	仲西 正	
	倉田 忠男	
大学院人間 文化研究科 選出委員	村田 容常	9.4.1~11.3.31

組換えDNA実験安全委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任 期
研究者	*室伏 きみ子	9.12.16~11.12.15
	倉田 忠男	
自然科学	根本 心一	
	村田 容常	
人文科学	佐藤 光子	
社会科学	山本 政人	
保健管理 センター所長	永川 祐三	9.12.16~11.12.15
理学部 事務長	菊池 昭夫	
生活科学部 事務長	薄葉 章	
安全主任者	馬場 昭次	9.12.16~11.12.15

共同研究委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任 期
学 長	*佐藤 保	
文教育学部 学長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 学長	板倉 壽郎	
大学院人間 文化研究科 学長	徳丸 吉彦	
ジェンダー 研究 センター長	原 ひろ子	

生活環境 研究 センター長	倉田忠男	
事務局長	橋本幹夫	

学資料委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
附属 図書館長	*小池三枝	
文教育学部 選出委員	小風秀雅	10. 4. 1~12. 3.31
理学部 選出委員	竹尾富貴子	
生活科学部 選出委員	吉村佳子	10.11. 1~12. 3.31
文教育学部 教授	秋山光文	10. 4. 1~12. 3.31
文教育学部 教授	鷹野光行	
ジェンダー 研究センター 教授	館かおる	

事務改善研究委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
事務局長	*橋本幹夫	
庶務課長	田中正幸	
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	
学務課長	井深順二	
学生課長	森廣美	
入学主幹	棚木紀雄	

庶務課 課長補佐	川島清人	
会計課 課長補佐	加藤久雄	
施設課 課長補佐	小永井耕一	
学務課 課長補佐	中野公敏	
文教育学部 事務長	高野佳征	
理学部 事務長	菊池昭夫	
生活科学部 事務長	薄葉章	
附属図書館 事務長	木谷利雄	

レクリエーション運営委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
事務局長	*橋本幹夫	
庶務課長	田中正幸	
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	
学務課長	井深順二	
学生課長	森廣美	
入学主幹	棚木紀雄	
文教育学部 事務長	高野佳征	
理学部 事務長	菊池昭夫	

生活科学部 事務長	薄 葉 章
附属図書館 事務長	木 谷 利 雄
庶務課 課長補佐	川 島 清 人
会計課 課長補佐	加 藤 久 雄
施設課 課長補佐	小永井 耕 一
研究協力 室長	古 賀 智
大学院 大事務室長	齊 藤 実
附属学校部 事務室長	中 野 公 敏

ジェンダー研究センター運営委員会 (庶務課)

官 職 等	氏 名	任 期
ジェンダー 研究 センター長	* 原 ひろ子	
文教育学部 部長	上 野 浩 道	
理学部長	平 野 恒 夫	
生活科学部 部長	板 倉 壽 郎	
大学院 人間文化 研究科長	徳 丸 吉 彦	
附 属 図 書 館 長	小 池 三 枝	
ジェンダー 研究センター 教 授	館 かおる	
ジェンダー 研究センター 教 授	川 嶋 瑤 子	
文教育学部 選 出 委 員	天 野 正 子	10. 4. 1~12. 3.31

理 学 部 選 出 委 員	松 浦 悦 子	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部 選 出 委 員	會 川 義 寛	10.10. 1~12. 3.31
大学院人間 文化研究科 選 出 委 員	内 田 伸 子	10. 4. 1~11. 3.31
事務局長	橋 本 幹 夫	

生活環境研究センター運営委員会 (庶務課)

官 職 等	氏 名	任 期
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	* 倉 田 忠 男	
文 教 育 学 部 部 長	上 野 浩 道	
理 学 部 長	平 野 恒 夫	
生 活 科 学 部 部 長	板 倉 壽 郎	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	五十嵐 脩	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	大 橋 昌 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 助 教 授	富 永 典 子	
文 教 育 学 部 選 出 委 員	千 歳 壽 一	9. 4. 1~11. 3.31
理 学 部 選 出 委 員	松 本 勲 武	
生 活 科 学 部 選 出 委 員	會 川 義 寛 本 間 清 一	10. 4. 1~12. 3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 選 出 委 員	芦 原 坦	9. 4. 1~11. 3.31
事務局長	橋 本 幹 夫	

共通機器センター運営委員会 (庶務課)

官職等	氏名	任期
センター長	平野恒夫	8.12.1~10.11.30
文教育学部 選出委員	石口 彰	10.4.1~12.3.31
	千歳 壽一	9.4.1~11.3.31
理学部 選出委員	小林哲幸	10.4.1~12.3.31
	浜谷 望	9.4.1~11.3.31
生活科学部 選出委員	仲西 正	10.4.1~12.3.31
	久保田 紀久枝	10.4.1~11.3.31
大学院人間 文化研究科 選出委員	村田容常	10.4.1~12.3.31
	林 正男	9.4.1~11.3.31
生活環境 研究センター 選出委員	大橋昌子	9.4.1~11.3.31

スペース・コラボレーション・システム事業運営委員会
(庶務課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	石口 彰	10.4.22~12.3.31
	清水 徹郎	
理学部 選出委員	*細矢 治夫	10.4.22~12.3.31
	太田 隆夫	
生活科学部 選出委員	杉田 孝夫	10.10.1~12.3.31
	會川 義寛	10.4.22~12.3.31

大学院人間 文化研究科 選出委員	佐藤 浩史	10.4.22~12.3.31
	坂元 章	
附属高等学校 選出委員	室岡 和彦	10.4.22~12.3.31
附属中学校 選出委員	松本 純一	
庶務課長	田中正幸	
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	
学務課長	井深順二	

予算委員会 (会計課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 部長	上野 浩道	10.4.1~11.3.31
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 部長	板倉 壽郎	10.4.1~11.3.31
大学院人間 文化研究科長	徳丸 吉彦	
文教育学部 選出委員	窪添 慶文	10.4.1~11.3.31
	鷹野 光行	10.10.1~12.9.30
理学部 選出委員	松本 勲武	9.4.1~11.3.31
	石和 貞男	10.4.1~12.3.31
生活科学部 選出委員	駒城 素子	10.4.1~12.3.31

生活科学部 選出委員	無 藤 隆	10.10.1~11.3.31
大学院人間 文化研究科 選出委員	竹 尾 富貴子	10.4.1~11.3.31
	楡 木 満 生	10.4.1~11.3.31
附 属 図 書 館 長	* 小 池 三 枝	
ジェンダー 研 究 センター長	原 ひろ子	
生活環境 研 究 センター長	倉 田 忠 男	
事務局長	橋 本 幹 夫	
学生部長	五十嵐 脩	
会計課長	白 井 清 二	

防災委員会(会計課)

官 職 等	氏 名	任 期
学 長	* 佐 藤 保	
文 教 育 学 部 学 長	上 野 浩 道	
理 学 部 長	平 野 恒 夫	
生 活 科 学 部 学 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
附 属 図 書 館 長	小 池 三 枝	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	
学 生 部 長	五十嵐 脩	

保 健 管 理 センター所長	永 川 祐 三	
事 務 局 長	橋 本 幹 夫	
庶 務 課 長	田 中 正 幸	
会 計 課 長	白 井 清 二	
施 設 課 長	鈴 木 重 之	
学 務 課 長	井 深 順 二	
学 生 課 長	森 廣 美	

購入物品機種選定委員会(会計課)

官 職 等	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 選 出 委 員	杉 谷 隆	10.4.1~12.3.31
	水 野 勲	
理 学 部 選 出 委 員	浜 谷 望	10.4.1~12.3.31
	永 野 肇	
生 活 科 学 部 選 出 委 員	倉 田 忠 男	10.4.1~12.3.31
	小 川 昭 二 郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 選 出 委 員	大 塚 恵	9.4.1~11.3.31

施設計画委員会(施設課)

官 職 等	氏 名	任 期
学 長	* 佐 藤 保	
文 教 育 学 部 学 長	上 野 浩 道	

理学部長	平野恒夫	
生活科学部長	板倉壽郎	
大学院人間文化研究科長	徳丸吉彦	
文教育学部選出委員	永原恵三	9.10. 1~11. 9.30
	杉谷隆	
理学部選出委員	福田豊	9. 4. 1~11. 3.31
	太田隆夫	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部選出委員	本間清一	10.11. 1~12. 3.31
	田中辰明	10. 4. 1~12. 3.31
大学院人間文化研究科選出委員	富永靖徳	9. 4. 1~11. 3.31
	杉田孝夫	
附属図書館長	小池三枝	
附属学校部長	石川宏	
ジェンダー研究センター長	原ひろ子	
生活環境研究センター長	倉田忠男	
事務局長	橋本幹夫	
学生部長	五十嵐脩	
カリキュラム委員会委員長	耳塚寛明	

館山施設計画委員会(施設課)

官職等	氏名	任期
理学部長	*平野恒夫	
文教育学部選出委員	本田郁子	10. 4. 1~12. 3.31
	杉山進	9.10. 1~11. 9.30
理学部選出委員	清本正人	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部選出委員	久保田紀久枝	10.10. 1~12. 9.30
臨海実験所所長	根本心一	
附属高等学校教頭	早崎捷治	
附属中学校教頭	井上泰次	
附属小学校教頭	星野征男	
附属幼稚園教頭	榊田正子	
学生部長	五十嵐脩	
事務局長	橋本幹夫	
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	

廃水管理委員会(施設課)

官職等	氏名	任期
生活環境研究センター選出委員	*富永典子	9.10. 1~11. 9.30
文教育学部選出委員	杉谷隆	

理学部 選出委員	松浦悦子	9.10. 1~11. 9.30
	浜谷望	
	益田祐一	
生活科学部 選出委員	久保田紀久枝	9.4. 1~11. 3.31
	仲西正	
大学院人間 文化研究科 選出委員	永野肇	9.4. 1~11. 3.31
附属高等学校 選出委員	石井朋子	9.10. 1~11. 9.30
附属中学校 選出委員	佐々木和枝	
会計課長	白井清二	
施設課長	鈴木重之	

カリキュラム委員会 (学務課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	* 耳塚寛明	10.4. 1~12. 3.31
	西澤奈津子	10.4. 1~12. 3.31
	菅野健	9.4. 1~11. 3.31
理学部 選出委員	竹尾富貴子	10.4. 1~12. 3.31
	菅本晶夫	9.4. 1~11. 3.31
	益田祐一	9.4. 1~11. 3.31
生活科学部 選出委員	會川義寛	10.4. 1~12. 3.31

生活科学部 選出委員	久保田紀久枝	10.4. 1~12. 3.31
	山本政人	9.4. 1~11. 3.31
学生部長	五十嵐脩	

公開講座委員会 (学務課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	坂本佳鶴恵	10.12. 1~12. 11.30
	土屋賢二	9.12. 1~11. 11.30
	岩崎千鶴	9.12. 1~11. 11.30
理学部 選出委員	石和貞男	10.12. 1~12. 11.30
	* 小林功佳	9.12. 1~11. 11.30
	鷹野景子	9.12. 1~11. 11.30
生活科学部 選出委員	伊藤美奈子	9.12. 1~11. 11.30
	鈴木恵美子	10.12. 1~12. 11.30
	小谷眞男	10.12. 1~12. 11.30
学生部長	五十嵐脩	

学生委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	* 三浦謙	8.4. 1~11. 3.31
	平岡公一	10.4. 1~12. 3.31
	竹村和子	9.4. 1~11. 3.31

理学部 選出委員	山田 眞二	10. 4. 1~12. 3.31
	浅本 紀子	10. 4. 1~11. 3.31
	市川 哲彦	10. 4. 1~11. 3.31
生活科学部 選出委員	藤原 葉子	10. 4. 1~12. 3.31
	村田 容常	9. 4. 1~11. 3.31
	伊藤 美奈子	10. 4. 1~11. 3.31
学生部長	五十嵐 脩	

共用体育施設等管理運営委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	* 杉山 進	10. 6.16~12. 6.15
学生部長	五十嵐 脩	
附属 学校部長	石川 宏	
会計課長	白井 清二	
学生課長	森 廣美	

保健管理センター運営委員会 (学生課)

官職等	氏名	任期
保健管理 センター所長	* 永川 祐三	
文教育学部 選出委員	杉山 進	9. 4. 1~11. 3.31
	本田 郁子	10. 4. 1~12. 3.31
理学部 選出委員	藤枝 修子	9. 4. 1~11. 3.31

理学部 選出委員	前田 ミチエ	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部 選出委員	富田 守	9. 4. 1~11. 3.31
	楡木 満生	10. 4. 1~12. 3.31
大学院人間 文化研究科 選出委員	會川 義寛	9. 4. 1~11. 3.31
附属小学校 選出委員	山梨 八重子	10. 4. 1~12. 3.31
学生部長	五十嵐 脩	
事務局長	橋本 幹夫	

入学試験委員会 (入学主幹室)

官職等	氏名	任期
学 長	* 佐藤 保	
学生部長	五十嵐 脩	
文教育学部 部長	上野 浩道	
理学部長	平野 恒夫	
生活科学部 部長	板倉 壽郎	
文教育学部 選出委員	本田 郁子	10. 4. 1~12. 3.31
	熊谷 圭知	9. 4. 1~11. 3.31
理学部 選出委員	藤原 正彦	10. 4. 1~12. 3.31
	塚田 和美	9. 4. 1~11. 3.31
生活科学部 選出委員	杉田 孝夫	10. 4. 1~12. 3.31

生活科学部 選出委員	大塚 惠	9. 4. 1~11. 3.31
事務局長	橋本 幹夫	
保健管理 センター所長	永川 祐三	
情報処理 センター長	細矢 治夫	

入学者選抜方法研究委員会 (入学主幹室)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	新井 由紀夫	10. 4. 1~12. 3.31
	石口 彰	9. 4. 1~11. 3.31
理学部 選出委員	藤原 正彦	10. 4. 1~12. 3.31
	塚田 和美	9. 4. 1~11. 3.31
生活科学部 選出委員	*杉田 孝夫	10. 4. 1~12. 3.31
	大塚 惠	10. 4. 1~11. 3.31
学生部長	五十嵐 脩	
カリキュラム 委員会 委員長	耳塚 寛明	

学芸員課程委員会 (文教育学部事務部)

官職等	氏名	任期
文教育学部 人間社会科学科 教育科学講座	小川 剛	10.10. 1~12. 9.30
文教育学部 人間社会科学科 学科主任	*鷹野 光行	
文教育学部 選出委員	秋山 光文	
	小風 秀雅	

文教育学部 選出委員	内田 忠賢	10.10. 1~12. 9.30
	市古 夏生	
理学部 選出委員	山下 貴司	
生活科学部 選出委員	吉村 佳子	10.10. 1~12. 9.30

理学部附属臨海実験所運営委員会 (理学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*平野 恒夫	10. 4. 1~12. 3.31
理学部附属 臨海実験所 所長	根本 心一	
理学部 選出委員	富永 靖徳	
	松本 勲武	
	山下 貴司	
理学部 附属臨海 実験所員	清本 正人	
文教育学部 選出委員	水野 勲	9. 4. 1~11. 3.31
	内田 忠賢	
生活科学部 選出委員	本間 清一	10. 4. 1~12. 3.31
	富永 典子	
会計課長	白井 清二	
施設課長	鈴木 重之	

理学部ラジオアイソトープ実験室運営委員会
(理学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*平野恒夫	
RI実験室長	松浦悦子	
放射線取扱主任者	古田悦子	
文教育学部選出委員	杉谷隆	10. 4. 1~12. 3.31
理学部選出委員	浜谷望	10.10. 1~12. 9.30
	室伏きみ子	
	小川温子	
生活科学部選出委員	大塚恵	9.10. 1~11. 9.30
	富永典子	

理学部極低温実験室運営委員会 (理学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*平野恒夫	
極低温実験室長	浜谷望	
理学部選出委員	伊藤厚子	10. 4. 1~11. 3.31
	永野肇	10. 4. 1~12. 3.31
	芦原坦	
生活科学部教授	畑江敬子	

情報処理センター運営委員会 (理学部事務部)

官職等	氏名	任期
情報処理センター長	*細矢治夫	
情報処理センター主任	浅本紀子	
文教育学部選出委員	宮尾正樹	10.10. 1~12. 9.30
	石口彰	
理学部選出委員	小林功佳	
	森義仁	
生活科学部選出委員	村田容常	
	山本政人	
大学院人間文化研究科選出委員	内藤俊史	
ジェンダー研究センター選出委員	館かおる	
生活環境研究センター選出委員	富永典子	
附属図書館長	小池三枝	
学生部長	五十嵐脩	
カリキュラム委員会委員長	耳塚寛明	

附属図書館運営委員会 (附属図書館事務部)

官職等	氏名	任期
附属図書館長	*小池三枝	10. 4. 1~12. 3.31
文教育学部選出委員	大塚常樹	

文教育学部 選出委員	天 野 知 香	10.10. 1~12. 9.30
理 学 部 選出委員	横 川 光 司	10. 4. 1~12. 3.31
	鷹 野 景 子	
生活科学部 選出委員	徳 井 淑 子	10.10. 1~12. 3.31
	大 塚 恵	9. 4. 1~11. 3.31
大学院人間 文化研究科 選出委員	山 田 眞 二	10. 4. 1~11. 5.31
大学院人間 文化研究科 選出委員	相 原 茂	9. 6. 1~11. 5.31
ジェンダー 研究センター 選出委員	館 かおる	10. 4.11~12. 3.31
生活環境 研究センター 選出委員	富 永 典 子	10. 4. 1~12. 3.31
カリキュラム 委員会 委員長	耳 塚 寛 明	

附属学校委員会 (附属学校部)

官 職 等	氏 名	任 期
附 属 学 校 部 長	* 石 川 宏	
文教育学部 選出委員	海老根 静 江	9. 4. 1~11. 3.31
理 学 部 選出委員	室 伏 きみ子	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部 選出委員	無 藤 隆	10.11. 1~12. 3.31
事務局 長	橋 本 幹 夫	
附 小 学 校 長	高 島 元 洋	
附 中 学 校 長	田 宮 兵 衛	

附 属 高 等 学 校 長	藤 枝 修 子	
附 属 幼 稚 園 長	黒 田 淑 子	
附 属 小 学 校 教 頭	星 野 征 男	
附 属 中 学 校 教 頭	井 上 泰 次	
附 属 高 等 学 校 教 頭	早 崎 捷 治	
附 属 幼 稚 園 教 頭	栴 田 正 子	

附属学校教育研究委員会 (附属学校部)

官 職 等	氏 名	任 期
附 属 学 校 部 長	* 石 川 宏	
文教育学部 選出委員	牛 江 ゆき子	10. 4. 1~12. 3.31
理 学 部 選出委員	室 伏 きみ子	10. 4. 1~12. 3.31
生活科学部 選出委員	牧 野 カツコ	10. 4. 1~12. 3.31
文教育学部 人間社会科学 科選出委員	酒 井 朗	10. 4. 1~11. 3.31
生活科学部 人間生活学科 選出委員	無 藤 隆	10. 4. 1~12. 3.31
附 属 小 学 校 長	高 島 元 洋	
附 属 中 学 校 長	田 宮 兵 衛	
附 属 高 等 学 校 長	藤 枝 修 子	
附 属 幼 稚 園 長	黒 田 淑 子	
附 属 小 学 校 教 頭	星 野 征 男	

附属 中学校教頭	井上泰次	
附属高等 学校教頭	早崎捷治	
附属 幼稚園教頭	榊田正子	
附属小学校 選出委員	田中千尋	10. 4. 1~12. 3.31
	成田信子	9. 4. 1~11. 3.31
附属中学校 選出委員	清田淳子	10. 4. 1~12. 3.31
	加々美勝久	9. 4. 1~11. 3.31
附属高等学校 選出委員	石出みどり	10. 4. 1~12. 3.31
	中津川義浩	9. 4. 1~11. 3.31
附属幼稚園 選出委員	上坂元絵理	10. 4. 1~12. 3.31
	田中三保子	9. 4. 1~11. 3.31

文教育学部 選出委員	秋山光文	
理学部 選出委員	石和貞男	
	細矢治夫	
生活科学部 選出委員	五十嵐 脩	
	島田淳子	
大学院人間 文化研究科 選出委員	上野浩道	
	内田伸子	
附属 図書館長	小池三枝	
附属 学校部長	石川 宏	
学生部長	五十嵐 脩	
事務局長	橋本幹夫	

創立120周年記念事業特別委員会（庶務課）

官職等	氏名	任期
学 長	*佐藤 保	
文教育学部 部長	上野浩道	
理学部長	平野恒夫	
生活科学部 部長	板倉壽郎	
大学院 人間文化 研究科長	徳丸吉彦	
文教育学部 選出委員	窪添慶文	

新任部局長紹介

文 教 育 部 長

(任期 平成10年10月1日～平成12年9月30日)



氏 名 うえの ひろみち 上野 浩 道

生年月日 昭和15年3月29日

専 攻 教育人間学

〔略 歴〕

昭和41年3月 東京大学教育学部教育学科卒業
昭和43年3月 同 大学院教育学研究科教育学専門課程（修士課程）修了
昭和46年3月 同 大学院教育学研究科教育学専門課程（博士課程）退学
昭和46年4月 花園大学文学部講師
昭和48年4月 お茶の水女子大学文教育学部講師
昭和50年4月 同 助教授
昭和61年4月 同 教授
平成2年4月 お茶の水女子大学附属中学校長 ～ 平成6年3月

〔モットー〕

思想は高潔に、生活は簡素に。

〔趣 味〕

山登り。大自然と一体となる解放感は心身を蘇らせてくれるのですが、最近はなかなか時間がとれません。

〔就任の言葉〕

学部と大学院の改組がやっと最終段階に入ったところで、大学審議会の答申が出されました。本学部も、学科改組、総合文化学コースの設置、カリキュラム改革など独自の改革を続けてきた流れの中で、この答申をどう受けとめて具体化していくかが問われています。

向学心に燃えて入学してきた学生が大学に失望したりすることほど残念なことはありません。本学ではそれほど深刻ではないと思いますが、これも私が年齢を重ねてきたために若い人たちの心がつかみきれないのではないかと懸念しております。

先生方の研究時間の確保を考えながら、質の高い授業と研究指導ができるような環境づくりに、先生方や事務の方々の協力をえて、少しでも貢献できればと思っております。

生活科学部長

(任期 平成10年10月1日～平成12年9月30日)



氏名 いたくら としお 板倉 壽郎
生年月日 昭和11年5月22日
専攻 美学、流行情報論

〔略歴〕

昭和35年3月 同志社大学文学部文化学科美学専攻卒業
昭和39年3月 同 大学院文学研究科哲学専攻(修士課程)修了
昭和39年4月 成安女子短期大学講師
昭和44年4月 同 助教授
昭和45年5月 お茶の水女子大学家政学部助教授
昭和59年6月 同 教授
平成7年4月 お茶の水女子大学学生部長 ～ 平成9年3月

〔モットー〕

知識偏重を戒め、直観を重視。

〔趣味〕

西欧中世の造形と神学との関係の探究(学問としてではなく趣味として)。
絵画(油絵)制作。

〔就任の言葉〕

生活科学部には色々な分野の教官が居り、真に学際的な研究を行って居ります。

現在の学問は過去のように人文科学的、社会科学的方法とか自然科学的方法とかに分れて研究するといったことを超越せねばならぬ状況にきています。

正に学際的研究が求められているのです。私は現代の藝術現象も研究していますが、それには科学技術の展開への理解が不可欠です。レーザー光線を用いる藝術、ネオンやアルゴンを用いるキネティックアート、ホログラフィー、放電現象を用いる藝術等はそのよい例でしょう。

生活に根ざした学際的研究、それが私達の目指す研究なのです。

私は教育もそうありたいと考えています。科学的教養を身に付けた人文学、社会学の研究者、人文社会学的教養を身に付けた自然科学の研究者を育成したいと考えています。

附属図書館長

(任期 平成10年11月1日～平成12年10月31日)



氏名 小池三枝

生年月日 昭和11年3月9日

専攻 日本服飾史、服飾美学

〔略歴〕

昭和33年3月 お茶の水女子大学家政学部被服学科卒業
昭和34年9月 同 家政学専攻科被服学専攻修了
昭和38年4月 同 家政学部助手 ～ 昭和42年3月
昭和48年10月 同 講師
昭和50年1月 同 助教授
昭和63年5月 同 教授
平成6年4月 お茶の水女子大学附属中学校長 ～ 平成9年3月

〔モットー〕

どんなことにも愉しみを見つきたい。

〔趣味〕

サボテン栽培。

〔就任の言葉〕

私がこの大学に入学したころ、それは今から四十年以上も前のことになりましたが、図書館は現在の理学部棟の辺りにあった木造校舎の片隅にありました。蔵書は現在の何十分の一だったでしょうか。小さな窓口を通じて借り出す閉架式で閲覧室も狭く、図書館というよりも図書室といった感じでした。当時は大学全体が何もかも今よりずっと小規模でしたから、図書館だけがとくに小さかったわけではないのですが、本を読むことで暇つぶしをしていた私は、図書館がもっと大きくなってほしいとも思っていました。

現在の場所に図書館が建ってから三十余年、その後の増築にもかかわらずはや満杯となった蔵書数と、さまざまなシステムの合理化など、昔とは比較にならないほど便利になりました。しかしまだまだ充実・改善すべきことの多いこの図書館を、今後どのように特色づけて一層魅力的な存在にするのか。大きな課題を前に、暇つぶしの本読みばかりしてはならず、目下思案中です。

人 事

人事異動

発令年月日	氏 名	官 職 等	異 動 前 の 所 属 ・ 職 名
◇ 退 職			
10. 9. 30	山 口 久 郎	辞 職 承 認	会計課
◇ 採 用			
10. 10. 1	近 藤 隆 之 一	文部事務官 (会計課)	
"	加 藤 誠	" (附属図書館)	
"	片 桐 篤	" (文教育学部)	
"	川 嶋 瑤 子	教 授 (ジェンダ-研究センター)	
"	永 瀬 伸 子	助 教 授 (生活科学部)	
◇ 昇 任			
10. 10. 1	安 成 英 樹	助 教 授 (文教育学部)	助手 (東京大学大学院人文社会系研究科)
◇ 配 置 換			
10. 10. 1	大 山 信 之 夫	庶務課大学院係学務主任	附属図書館総務係総務主任
"	脇 紀	庶務課	学務課
"	鈴 木 孝	学務課	庶務課
◇ 転 任			
10. 9. 1	和 田 英 信	助 教 授 (文教育学部)	助 教 授 (信州大学人文学部)
10. 10. 1	本 橋 直 美	会 計 課	国 立 歴 史 民 俗 博 物 館 管 理 部 資 料 課
◇ 併 任			
10. 10. 1	上 野 浩 道	文教育学部長・評議員 併任期間 平成12年9月30日	(文教育学部教授)
"	板 倉 壽 郎	生活科学部長・評議員 併任期間 平成12年9月30日	(生活科学部教授)
"	中 村 弓 子	評 議 員 併任期間 平成11年9月30日	(文教育学部教授)
"	富 田 守	評 議 員 併任期間 平成12年9月30日	(生活科学部教授)
"	袖 井 孝 子	評 議 員 併任期間 平成12年9月30日	"
"	駒 城 素 子	評 議 員 併任期間 平成12年9月30日	"
◇ 併任解除			
10. 10. 1	上 野 浩 道	評 議 員	(文教育学部教授)

発令年月日	氏 名	官 職 等	異 動 前 の 所 属 ・ 職 名
◇ 休 職			
10. 9. 1	濱 村 知 枝	休職期間更新 期間 平成10年11月30日	庶務課
10. 9. 21	河 野 暢 子	育児休業 期間 平成11年 5月31日	庶務課
◇ 臨時的任用			
10. 9. 21	鈴 木 智 美	庶務課 任期 平成11年 5月31日	

◎非常勤職員

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇採用				
10. 9. 1	穂子	事務補佐員	11. 3. 31	
"	有智	"	"	
"	分屋 雅子	"	11. 2. 28	
"	山本 しのぶ	"	11. 3. 31	
"	中谷 裕美	"	11. 2. 28	
10. 9. 21	平田 陽美	教務補佐員	11. 3. 31	
10. 9. 25	佐藤 秀美	"	"	
10. 10. 1	岩坂 和美	技能補佐員	"	
"	小西 章予	教務補佐員	"	
"	舟木 理香	"	"	
"	尾崎 美佳	事務補佐員	"	
"	梅澤 香代	教務補佐員	"	
"	伊藤 亜紀	"	"	
"	藤原 玲	"	"	
"	内藤 まゆみ	ティーチング・アシスタント	11. 2. 28	
"	荻野 優子	"	"	
"	泉 真由子	"	"	
"	一場 美奈子	"	"	
"	片岡 久美子	"	"	
"	石黒 恭子	"	"	
"	大泉 亜弘	"	"	
"	久中 湊美子	"	"	
"	頼澤 彩子	"	"	
"	佐伯 麻実子	"	"	
"	高木 理子	"	"	
"	田中 昭子	"	"	
"	堤仁美子	"	"	
"	都甲 由紀子	"	"	
"	宮川 真映子	"	"	
"	小林 華子	"	"	
"	小松 由子	"	"	
"	遠藤 繪子	"	"	
"	小田 繪子	"	"	
"	石田 千恵子	"	"	
"	打越 千恵子	"	"	
"	藤田 朋佳子	"	"	
"	鈴木 和美子	"	"	
"	栗林 徳子	"	"	
"	宮城 知子	"	"	
"	味毛 明子	"	"	
"	佐野 友美子	"	"	
"	戸井 智美子	"	"	
"	杉本 美香子	"	"	
"	古舘 規子	"	"	
"	渡辺 知恵子	"	"	
"	岩松 亜紀子	"	"	
"	沓掛 磨也子	"	"	
"	王鳳 英子	"	"	
"	原真 紀子	"	"	
"	上村 晴生子	"	"	
"	中村 正生子	"	"	
"	岩田 知子	"	"	
"	氏家 未帆子	"	"	
10. 10. 8	亀山 中	教務補佐員	11. 3. 31	
10. 10. 12	村智	事務補佐員	"	

発令年月日	氏 名	官 職 等	任 期	備 考
10. 10. 16	榎 木 晴 子	教務補佐員 (理 学 部)	11. 3. 31	
10. 10. 19	池 亀 直 子	事務補佐員 (文教育学部)	"	
◇ 任 用 更 新				
10. 10. 1	王 冬 梅	教務補佐員 (生活科学部)	11. 3. 31	
"	雨 宮 敏 子	" "	"	
"	柳 瀬 サエ子	" "	"	
"	楠 佳奈子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	11. 2. 28	
◇ 退 職				
10. 9. 30	浅 海 智 子	事務補佐員 (ジェンダー研究センター)		
"	庭 山 千 鶴	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)		
10. 10. 31	下 垣 悦 子	事務補佐員 (学 生 課)		

◎非常勤講師

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 採用				
10. 9. 1	田嶋原俊司	講師 (生活科学部)	10. 9. 30	神田外語大学助教授
" "	嶋根政充	講師 (研究機関研究員) (センター)	11. 3. 31	
" "	尾尚悦子	講師 (附属高等学校)	" "	
10. 10. 1	加藤藤子	講師 (文教育学部)	" "	玉川大学助教授
" "	遠藤多佳	" "	" "	慶應義塾大学助教授
" "	岡村素一	" "	" "	東京造形大学助教授
" "	首藤佳子	" "	" "	駒澤大学助教授
" "	谷川昌弥	" "	" "	中央学院大学講師
" "	須田昌研	" "	" "	青山学院大学講師
" "	石崎二子	" "	" "	東京都立大学助手
" "	大久保恵子	" "	" "	東京成徳大学講師
" "	三輪建二	" "	" "	上智大学助教授
" "	青木見子	" "	" "	
" "	尾井孝子	" "	" "	川村学園女子大学助教授
" "	石坂下典	" "	" "	
" "	宮崎友久	" "	" "	東海大学教授
" "	岡田芳悦	" "	" "	白百合女子大学助教授
" "	針生井聡	" "	" "	放送大学助教授
" "	石佐藤達	" "	" "	上智大学助教授
" "	楊松橋公	" "	" "	立教大学助教授
" "	松浦満一	" "	" "	
" "	勝渡岩地	" "	" "	成城大学講師
" "	白宮亀子	" "	" "	明治大学助教授
" "	神田道未	" "	" "	東洋大学助教授
" "	海部田知	" "	" "	情報図書館 RUKIT 館長
" "	池田正	(理学部)	" "	(株) ケイ・ジー・ティー
" "	宮島静	" "	" "	十文字学園女子大学助教授
" "	大下幸	" "	" "	東洋大学助教授
" "	栗木理	" "	" "	
" "	鈴袋佳	" "	" "	東京理科大学教授
" "	溝口惟	" "	" "	
" "	土屋守	" "	" "	理化学研究所研究員
" "	清木康	" "	" "	武蔵大学助教授
" "	佐藤子	" "	" "	立正大学助教授
" "	塚井真	" "	" "	東京都立大学助教授
" "	小野修	" "	" "	東海大学助教授
" "	常磐明	" "	" "	慶應義塾大学助教授
" "	永正典	(生活科学部)	" "	東芝研究開発センター研究主務
" "	相楽二	" "	" "	東邦大学助教授
" "	小見山昭	" "	" "	
" "	佐藤美	" "	" "	日本分析化学会事務局長
" "	谷川彦	" "	" "	ソニー常勤嘱託
" "	田中俊	" "	" "	立教大学講師
" "	川端博	" "	" "	山梨県環境科学研究所研究管理幹
" "	大松秀	" "	" "	鹿島建設技術研究所次長
" "		" "	" "	実践女子大学助教授
" "		" "	" "	
" "		" "	" "	東横学園女子短期大学助教授
" "		" "	" "	東京電力空調システム部課長
" "		" "	" "	東京都立短期大学助手
" "		" "	" "	

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
10. 10. 1	山前子穗	講師 (生活科学部)	11. 3. 31	東京農業大学教授 日本医科大学講師
"	口田美幸	"	"	"
"	野寺義子	"	"	"
"	小綾園夏	"	"	"
"	伊藤家藤	"	"	大妻女子大学助教授 東京都老人総合研究所主任研究員
"	真近藤野謙	"	"	自治医科大学助教授
"	高加藤内伸	"	"	"
"	上垣正明	"	"	十文字学園女子短期大学助教授 東京家政大学助教授
"	柴崎林田部路内谷原田村井田松	"	"	"
"	小安阿淡竹紺萩岩成森白澤村乾坂清大滝	"	"	国民生活センター調査研究室長補佐 放送大学教授 立教大学教授 成蹊大学助教授 日本証券経済研究所主任研究員 日本社会事業大学教授 跡見学園女子大学教授
"	和留安正	"	"	相模女子大学短期大学部教授
"	雄彦康子	"	"	東京女子大学教授 武威工業大学教授 姫路工業大学教授 慶応義塾大学助教授
"	知子	講師 (研究機関研究員) (ジェンダー研究センター)	"	"
"	澤公	講師 (附属中学校)	10. 10. 30	"
◇ 任用更新				
10. 9. 1	吉本智子	講師 (附属高等学校)	10. 12. 31	
10. 10. 1	車俊之	" (理学部)	11. 3. 31	
◇ 併任				
10. 10. 1	今井知正	講師 (文教育学部)	11. 3. 31	東京大学教授
"	谷部玲生	"	10. 11. 30	国立教育研究所主任研究員
"	近藤成浩	"	11. 3. 31	東京大学助教授
"	久留島裕子	"	"	国立歴史民俗博物館助教授
"	田原田林田	"	"	東京大学助手
"	永若窪東水森小鳥太徳武安村大田	"	"	東京大学助教授 筑波大学講師 筑波大学助教授 国立特殊教育研究所主任研究員 東京学芸大学助手 東京学芸大学助教授 横浜国立大学助教授 東京大学教授
"	野海田永田岡達松野中	"	"	"
"	勝正善	"	"	国立科学博物館動物研究部長
"	文淳子	"	"	東京大学教授
"	泰子	"	"	学術情報センター教授
"	野中勝	"	"	東京学芸大学教授
"	"	"	"	国立婦人教育会館長
"	"	"	"	一橋大学教授

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
10. 10. 1	林彦夫	講師 (理学部)	11. 3. 31	東京大学教授
"	守利隆	"	"	"
"	西野栄正	"	"	千葉大学助教授
"	寶来正子	"	"	東京工業大学教授
"	鷹野澄一	"	"	東京大学助教授
"	三宅洋一	"	"	千葉大学教授
"	後藤雄一	"	"	国立精神・神経センター神経研究所 微細構造研究部神経形態研究室長
"	山中英明	" (生活科学部)	"	東京水産大学教授
"	山本敏啓	"	"	広島大学助教授
"	大川匡子	"	"	千葉大学教授 国立精神・神経センター精神保健研究所 精神生理部長
"	藤本大三郎	"	"	東京農工大学教授
"	佐藤俊	"	"	筑波大学教授
"	市川雅博	"	"	東京外国語大学助教授
"	南森博文	"	"	九州大学教授
"	内野信文	"	"	横浜国立大学教授
"	高橋正幸	"	"	筑波大学教授
"	高畑尚一	"	"	東京外国語大学助教授
"	小林昭子	" (大学院人間文化研究科)	"	総合研究大学院大学教授
"	小谷夫一	"	"	東京大学助教授
"	西原清	"	"	東京工業大学教授 筑波大学教授

◇ 兼 担

10. 10. 1	福田正恒	講師 (文教育学部)	11. 3. 31	附属中学校教諭
"	流田直	"	"	附属小学校教諭
"	黒部善之	"	"	"
"	遠藤修一	"	"	"
"	辰巳豊子	"	"	"
"	栗原美子	"	"	附属中学校教諭
"	田中京子	"	"	附属高等学校教諭
"	水岡万紀子	"	"	"
"	菊池美千世	"	"	"
"	村井利行	" (理学部)	"	"
"	磯貝文男	"	"	"
"	佐々木和枝	"	"	附属中学校教諭

◎ 外国人研究員

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 契 約				
10. 9. 1	私ハソ	ジェンダー研究センター	10. 12. 25	

◎ 外国人教師

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 契 約				
10. 10. 1	ロドルフ・シル・ティオ	文教育学部	11. 3. 31	

諸 報

○平成10年秋の叙勲について

平成10年11月3日の秋の叙勲で本学名誉教授中山時子氏が勲三等瑞宝章を、同じく松川哲哉氏が勲三等瑞宝章を受章されました。

○小学校教育功労者表彰について

新教育制度施行50周年を記念して、長く小学校教育に従事し、小学校教育の振興に功労のあった者として附属小学校 星野 征男 教頭が、平成10年10月15日文部大臣表彰されました。

○研 修

名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
第49回文部省会計事務特別研修	平成10年9月21日 ～ 10月8日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者又はそれに相当する者で、原則として年齢25歳以上30歳以下の者	会計課・出納係 有野 理恵	文部省
平成10年度関東甲信越地区国立学校事務情報化担当職員研修 (クライアント/サーバシステム基礎コース)	平成10年9月28日 ～ 10月2日	情報担当部門の職員で、情報システムの開発及び維持・管理を担当する者	会計課・給与係 与主任 羽根 ひろの	文部省及び 千葉大学
平成10年度国立学校等課長補佐級研修	平成10年10月6日 ～ 10月9日	平成9年度の本研修後に新たに国立学校等の課長補佐、室長補佐、事務長補佐及び専門員(職制定数上の専門員をいう。)に就任した者で、原則として年齢50歳以下の者	庶務課・課長補佐 川島 清人	文部省及び 東京大学
平成10年度関東・甲信越地区国立学校等係長研修	平成10年10月20日 ～ 10月23日	① 係長又は係長相当の職にある者 ② 年齢50歳以下の者 ③ 勤務成績が優秀な者	庶務課・職員係長 山本 隆 施設課・工営第二 係長 菅原 眞琴	文部省及び 東京商船大学 ・東京工業大学

名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成10年度放射性同位元素等取扱施設教職員研修	平成10年10月22日 ～ 10月23日	各放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員	理学部・放射線取扱主任者 古田 悦子	文部省及び 東北大学サイロ トロン・ラジアイノベ
第19回公務員倫理研修（KET）指導者養成研修	平成10年10月28日 ～ 10月30日	係長相当職以上の職員で、研修受講後、公務員倫理研修の指導に当たることが予定されている職員	会計課・総務係長 高田 洋一	人事院

○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
文教育学部・ 助教授	熊谷 圭知	オーストラリア	パプアニューギニア都市・農村関係の資料収集及び研究者との情報交換	10. 9. 3～ 10. 9. 17	海外研修
文教育学部・ 教授	窪添 慶文	中華人民共和国	中国六朝文化国際学術研討会出席	10. 9. 4～ 10. 9. 11	海外研修
文教育学部・ 教授	鷹野 光行	イタリア共和国	ローマ時代別荘遺跡の発掘調査	10. 9. 6～ 10. 9. 18	外国出張
理学部・教授	真島 秀行	連合王国	日英科学協力事業・共同研究「特異摂動の代数解析学」の研究実施	10. 9. 6～ 10. 9. 20	外国出張
理学部・教授	芦原 坦	カナダ・ アメリカ合衆国	カナダ・カルガリー大学における共同研究	10. 9. 10～ 10. 10. 24	海外研修
附属中学校・ 教諭	宗我部 義則	ドイツ連邦共和国・ ブルガリア共和国	平成10年度在外教育施設巡回指導	10. 9. 11～ 10. 9. 21	外国出張
人間文化研究科・ 助教授	坂元 章	中華人民共和国	子供の感情コントロールに関する調査	10. 9. 13～ 10. 9. 20	外国出張
人間文化研究科・ 助教授	田辺 新一	カナダ・ アメリカ合衆国	「健康住宅とエネルギー・水資源有効利用住宅」北米セミナーへの出席	10. 9. 17～ 10. 9. 28	外国出張
理学部・教授	永野 肇	フランス共和国	ルイ・パスツール大学における共同研究の打合せ及び学術交流	10. 9. 24～ 10. 10. 3	海外研修
理学部・教授	藤枝 修子	ハンガリー共和国	非線形化学振動反応に関する講演及び研究打合せ	10. 9. 25～ 10. 10. 8	海外研修
文教育学部・ 講師	新名 謙二	ベルギー共和国・ 連合王国	第6回ヨーロッパスポーツマネジメント会議への参加及び発表	10. 9. 28～ 10. 10. 7	海外研修
文教育学部・ 助教授	平岡 公一	イタリア共和国・ ドイツ連邦共和国・ オーストリア共和国	欧州諸国の高齢者福祉に関する資料収集及び研究交流	10. 9. 30～ 10. 10. 12	外国出張
理学部・講師	清本 正人	アメリカ合衆国	ウニ胚間充織細胞の分化に関する研究	10. 10. 6～ 11. 5. 12 (帰国予定)	外国出張
人間文化研究科・ 助教授	今野 美智子	フランス共和国・ スイス連邦	国際会議「EMBO Workshop」への参加及び発表並びに研究者との研究討論	10. 10. 9～ 10. 10. 19	海外研修
理学部・助手	渡部 亜矢子	アメリカ合衆国	第51回ガス電子会議(GEC)及び第4回反応性プラズマ国際会議(ICRP)の合同会議への出席	10. 10. 17～ 10. 10. 22	海外研修

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
文教育学部・教授	徳丸吉彦	アメリカ合衆国	民族音楽学会への出席	10. 10. 22～ 10. 10. 27	海外研修
人間文化研究科・助手	朴善姫	大韓民国	韓国シャーマニズム学会での学術調査への参加	10. 10. 27～ 10. 11. 12 (帰国予定)	海外研修
文教育学部・講師	水村真由美	アメリカ合衆国	国際ダンス医科学会への出席	10. 10. 29～ 10. 11. 10 (帰国予定)	海外研修
文教育学部・助教授	坂本佳鶴恵	連合王国・ アメリカ合衆国・ フランス共和国・ スペイン・ イタリア共和国・ スウェーデン王国	カルチュラル・スタディズの視点からのメディアと家族をめぐる比較調査、資料収集及び研究交流	8. 10. 1～ 10. 9. 21 (期間変更)	海外研修
文教育学部・教授	内田正子	連合王国	18～19世紀イギリス文学研究	9. 9. 29～ 10. 9. 29 (期間変更)	海外研修

○附属小学校創立120周年記念事業

21世紀への第一歩を願って

本校は、1878年（明治11年）湯島の地に東京女子師範学校附属練習小学校として開校以来、平成10年9月20日で創立120年を迎えました。この間、校名も10数回変わり、校舎も湯島の地から現在の大塚に移転しました。

創立120周年行事をどのようなものにするか学校、かがみ会（PTA）、茗鏡会（同窓会）、教育後援会の4者で相談し進めました。質素な中にも「現在在籍している児童にとって思い出に残る行事や事業」になって欲しいとの願いを基本にすることとなりました。その結果、全校児童参加の式典、からくり時計の設置と全児童の文章を収録した記念誌の発行、キーリングウォッチをメインとする記念品、卒業生・在校生保護者・新旧教職員参加の祝賀会が計画されることになりました。

記念式典では高島元洋附属小学校長の式辞に始まり、佐藤保学長の祝辞、稲村忍かがみ会会長と山田太郎茗鏡会会長の祝辞をいただきました。厳粛な中にも1年生から6年生までの児童に分かりやすいお話でした。また、児童代表（6年・野口秀伸）のことは具体的に120年の歴史の重みを述べたもので参会者にお褒めのことはいただきました。

かがみ会、茗鏡会、教育後援会から設置していただきました「からくり時計」は附属小学校の新しい憩いの場にふさわしいメロディーを1日に3回奏でています。子供たちが腰を下ろして、メロディーに合わせて演奏するカリヨンボーイを眺めている風景は何とも言えない安らぎを我々に与えてくれています。

午後から附属小学校体育館で開かれました祝賀会は暑さのためご参会いただいた皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。石川宏附属学校部長のご祝辞が心に残りました。

最後になりましたが、今回の一連の計画に対しまして佐藤保学長、石川宏附属学校部長、橋本幹夫事務局長をはじめ大学関係各位にいろいろとご助言いただきました。この紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。

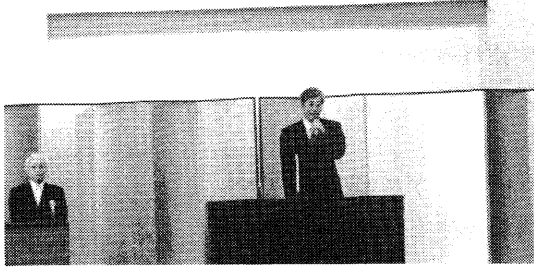
この次に周年行事が行なわれる時は21世紀になっています。今回の120周年記念事業が新しい附属小学校の第一歩となることを願って報告にかえさせていただきます。

（文責 附属小学校教頭 星野征男）



祝辞を述べる佐藤学長

お茶の水女子大学附属小学校
創立120周年記念式典

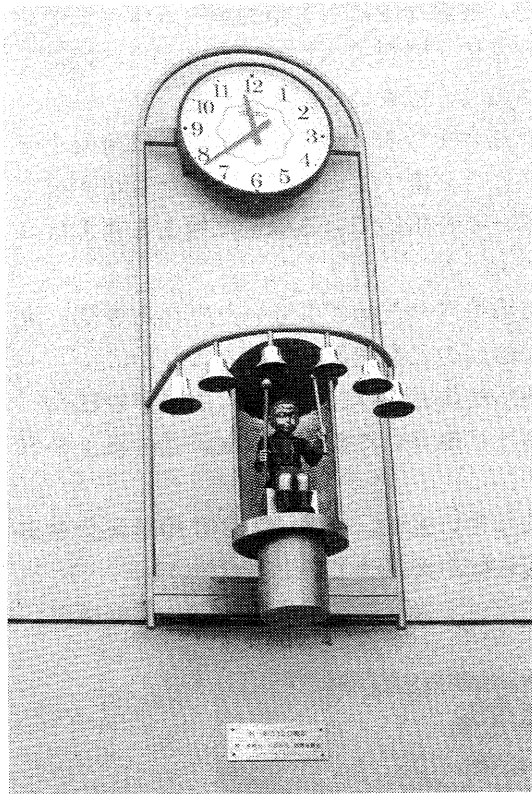


式辞を述べる高島校長

お茶の水女子大学附属小学校
創立120周年記念祝賀会

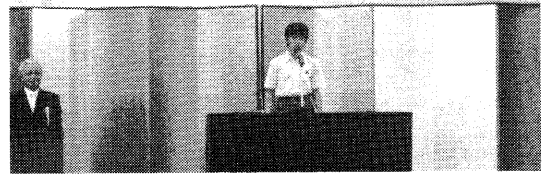


祝辞を述べる石川附属学校部長



記念事業のからくり時計

お茶の水女子大学附属小学校
創立120周年記念式典



児童代表のことは



からくり時計の始動式

○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受 診 者 数	実 施 場 所
職員定期健康診断 (第1回)	平成10年 10月12日(月) 13日(火)	全職員。ただし、人間ドックの受診者及び遠隔地勤務者を除く。	215人	保健管理センター

○平成10年度お茶の水女子大学総合防災訓練

平成10年度お茶の水女子大学総合防災訓練が10月28日(水)12時から13時までの間実施された。

訓練は、正午に震度6程度の大地震発生を想定した全体の避難訓練と、各種訓練の2部構成で実施された。

避難訓練では、学長を災害対策本部長として、全員の避難訓練を行うとともに、共通講義棟1号館4階に逃げおくれ者ありの想定で、消防署にハシゴ車の出動を要請し、救出訓練が実施された。

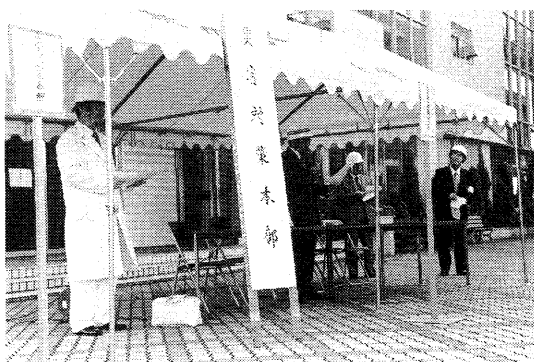
各種訓練では、救助袋訓練、地震体験・煙体験訓練、消火訓練がそれぞれ実施された。



ハシゴ車により救出訓練



救助袋訓練



災害対策本部長(学長)の講話

○レクリエーション行事

『歌舞伎鑑賞』

去る、10月10日(土)・11日(日)・18日(日)・24日(土)・25日(日)に国立劇場において、歌舞伎鑑賞が行われた。

このレクリエーション行事には、50名が参加し、通し狂言「佐倉義民伝(さくらぎみでん)」を鑑賞した。

『職員ボウリング大会』

去る、10月27日(火)に、池袋ブランズウィック・スポーツガーデンにおいて、平成10年度職員レクリエーション「職員ボウリング大会」が行われた。

本大会は、毎年開催されているもので、今回は、15チーム44名の参加があり、橋本事務局長の挨拶の後、富山ボウリング班班長の始球式に始まり、熱戦が繰りひろげられた。

なお、成績は、下記のとおり。

(団体)

優勝 男優会 チーム
片桐 篤、関口健治、八重樫博
準優勝 アフローズ チーム
岡田健一、周一川、横川光司
第3位 年取ったーズ チーム
鈴木重之、富山 弘

(個人)

優勝
(男子) 横川光司
(女子) 涌井豊子



優勝 男優会チーム



準優勝 アフローズチーム

○訃 報

関根 慶子 名誉教授

関根 慶子氏には病気のため平成10年9月12日逝去されました。享年88才。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

井本 農一 名誉教授

井本 農一氏には病気のため平成10年10月10日逝去されました。享年85才。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

なお、生前の功績により正四位に叙されました。

加賀 秀夫 名誉教授

加賀 秀夫氏には病気のため平成10年10月25日逝去されました。享年65才。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

日 誌

- | | |
|--|--|
| <p>9月2日(水) 人間文化研究科博士前期課程入試
(～3日)</p> <p>3日(木) 国立大学協会L・A特別委員会(於:
: 学士会分館)</p> <p>4日(金) 国立大学協会第三常置委員会(於:
: 学士会分館)</p> <p>7日(月) 課長会議
秋の国立学校等経理部課長会議(於:
: 東京医科歯科大学)
毒物・劇薬の管理に関する立ち入り
調査
入学者選抜方法研究委員会</p> <p>8日(火) 部局長会議
主任会議</p> <p>9日(水) 日本語・日本文化研修留学生修了式
教授会</p> <p>10日(木) 博士後期課程運営委員会
代議員会</p> <p>11日(金) 国立大学協会50周年記念事業委員会
(於: 学士分館)
人間文化研究科博士前期課程入試合
格発表</p> <p>12日(土) 大学セミナーハウス理事会・評議会
(於: 青学会館)</p> <p>14日(月) 夏期休業終</p> <p>15日(火) 敬老の日</p> <p>16日(水) 前学期末試験・補講(～22日)</p> <p>17日(木) 教育職員免許法説明会(於: 昭和女
子大学)
附属高等学校ダンスコンクール
メンタルヘルス研究協議会(～18日)
(於: 虎の門パストラル)
大学入試センター試験意見交換会
(於: 大学入試センター)</p> <p>18日(金) 大学セミナーハウス協力会員校事務
連絡会(於: 大学セミナーハウス)
自衛消防隊訓練審査会(於: 小石川
消防署)
東京地区国公立大学厚生補導部課長
会議(於: 電気通信大学)</p> <p>19日(土) 附属小学校創立120周年記念式典
公開講座</p> <p>21日(月) 大学院人間文化研究科博士後期課程
入試</p> | <p>文部省会計事務特別研修(～10月8
日)(於: オリセン)</p> <p>国立学校等広報・文書研究協議会
(～22日)(於: 群馬大学)</p> <p>中長期の就職採用問題研究会(於:
東海大学校友会館)</p> <p>16大学長懇話会(於: 如水会館)</p> <p>22日(火) 部局長会議
国際交流委員会</p> <p>23日(水) 秋分の日</p> <p>24日(木) 秋期休業始
外国人留学生実地見学旅行(～26日)
国立大学協会常務理事会(於: 東京
ガーデンパレス)
学生委員会
評議会
カリキュラム委員会</p> <p>25日(金) 文部省共済組合実地監査
情報処理センター運営委員会</p> <p>26日(土) 附属中学校生徒祭(～27日)
公開講座</p> <p>29日(火) SCS事業運営委員会
入学試験委員会</p> <p>30日(水) 秋期休業終
大学入学広報セミナー(於: 有楽町
朝日ホール)
卒業式・学位記授与式
博士後期課程運営委員会
代議員会
国立極地研究所創立25周年記念式典
(於: 極地研講堂)
附属学校教育研究委員会</p> <p>10月1日(木) 後期授業開始
国立大学協会L・A特別委員会(於:
: 国立大学協会)</p> <p>2日(金) 上越教育大学創立20周年記念式典
(於: 上越教育大学)
博士後期課程入試合格発表
事務連絡協議会
事務改善研究委員会会計専門部会</p> <p>3日(土) 公開講座
附属高等学校輝鏡祭(～4日)</p> <p>6日(火) 国立学校等課長補佐級研修(～9日)
(於: オリセン)</p> |
|--|--|

課長会議

8日(木) 関東甲信越地区国立大学等施設部課長会議(於:千葉大学)
 全国国立大学学生部長協議会(～9日)(於:神戸大学)
 共済組合地区別担当者会議(於:金沢大学)

9日(金) 国立大学協会50周年記念行事準備委員会(於:国立大学協会)

12日(月) 池田摩耶子・重記念奨学金審査委員会
 職員一般定期健康診断(～13日)
 進学問題検討委員会(東京都)(於:東京都庁)
 国立大学協会第3常置委員会打合せ(於:国立大学協会)

13日(火) 防災委員会
 部局長会議
 主任会議

14日(水) 国立大学協会第3常置委員会(於:国立大学協会)
 教授会
 外国人留学生オリエンテーション
 就職ガイダンス

15日(木) 教育系大学附属学校部長等協議会(～16日)(於:東京学芸大学)
 附属高等学校防災訓練

16日(金) 理学部退官者との懇談会
 関東甲信越地区国立大学長会議(於:如水会館)

17日(土) 公開講座

18日(日) 全学停電日

19日(月) 事務改善研究委員会庶務専門部会

20日(火) 関東甲信越地区国立学校等係長研修(～23日)(於:オリセン)
 理学部拡大計画委員会

21日(水) 博士後期課程運営委員会
 代議員会
 シンポジウム「女性自然科学者への期待」
 就職ガイダンス
 国立大学協会L・A特別委員会(於:国立大学協会)
 カリキュラム委員会

22日(木) 国立22大学理学部長会議(於:KKRホテル東京)
 関東甲信越地区国立大学事務局長会議(於:横浜国大)

23日(金) 国立大学理学部長会議(於:KKR

ホテル東京)
 聖心女子大学創立50周年記念式典(於:聖心女子大学)
 附属図書館運営委員会
 国立大学協会理事会(於:学士会館分館)

24日(土) 公開講座
 女子大学連盟総会(於:跡見学園女子大学)

26日(月) 理学部帰国子女願書受付(～6日)
 中長期における就職採用問題研究会(於:文部省)

27日(火) 部局長会議
 職員ボーリング大会(於:池袋ブランズウィック)

28日(水) 総合防災訓練
 文教育学部教務関係事項検討委員会
 評議会
 就職ガイダンス
 附属学校教育研究委員会

29日(木) 事務改善研究委員会学生・学生センター(仮称)構想専門部会
 大学資料委員会
 附属小学校教育実習指導研究会

30日(金) 関東甲信越地区国立大学等庶務部課長会議(於:如水会館)
 事務連絡協議会

31日(土) 附属高等学校1日体験授業